magicolor® 2590MF
ファクスユーザーズガイド

4556-9603-00K

1800837-014A

はじめに

弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。magicolor 2590MF は、Windows、Macintosh の環境でお使いいただくのに最適なプリンタです。

ユーザー登録について

アフターサービスをスムーズにお受けいただくために、お客様のユーザー登録をお願いいたします。

ユーザー登録はインターネットのオンライン登録にて受け付けております。

http://printer.konicaminolta.jp　より“サポート”を選び、“オンラインユーザー登録”にお進みください。

製品に同梱のユーザー登録申込みはがきに必要事項を記入して投函いただくことでもユーザー登録ができます。

（製品によってはユーザー登録後に保証書を発行させていただく機種がございます。）

登録商標および商標

KONICA MINOLTA および KONICA MINOLTA ロゴは、コニカミノルタホールディングス株式会社の商標および登録商標です。magicolor および PageScope は、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の商標および登録商標です。

本書に記載されているその他の製品名は各社の商標または登録商標です。

ソフトウェアの所有権について

本機に添付のソフトウェアは著作権により保護されています。本ソフトウェアの著作権は、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社に帰属しています。いかなる形式または方法においても、またいかなる媒体へもコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の書面による事前の承諾なく、添付のソフトウェアの一部または全部を複製・修正・ネットワーク上などへの掲示・譲渡もしくは複写することはできません。

著作権について

本書の著作権はコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社に帰属します。書面によるコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の承諾なく、本書の一部または全部を複写もしくはいかなる媒体への転載、いかなる言語への翻訳をすることはできません。

本書について

本書は、改良のため予告なしに変更することがあります。本書の内容に関しては、誤りや記述漏れのないよう万全を期して作成しておりますが、本書中の不備についてお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社は、本書による特定の商用などの目的に対する利用についての保証はいたしておりません。

本書の記載事項からはずれて本機を操作・運用したことによる偶然の損害、特別・重大な損害などの影響ついて、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社は保証・責任を負いかねますのでご了承ください。

安全にお使いいただくために

製品を安全にお使いいただくために、必ず以下の「取扱上の注意」をよくお読みになってください。また、この説明書の内容を十分理解してから、プリンタの電源を入れるようにしてください。

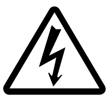
■　このユーザーズガイドはいつでも見られる場所に大切に保管ください。

絵記号の意味

このユーザーズガイドおよび製品への表示では、製品をただしくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を追う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



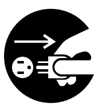
△　**記号は注意を促す内容があることを告げるものです。**

図の中に具体的な注意内容（左図の場合は高温注意）が描かれています。



⊘　**記号は禁止の行為であることを告げるものです。**

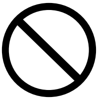
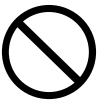
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

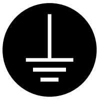
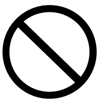
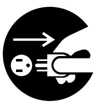
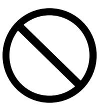


●　**記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。**

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的内容が書かれています。

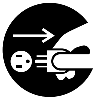
⚠警告

	● 本製品を改造しないでください。火災・感電のおそれがあります。また、レーザーを使用している機器にはレーザー光源があり、失明のおそれがあります。 ● 本製品の固定されているカバーやパネルなどは外さないでください。製品によっては、内部で高電圧の部分やレーザー光源を使用しているものがあり、感電や失明のおそれがあります。
	● 同梱されている電源コード以外は使用しないでください。不適切な電源コードを使用すると火災・感電のおそれがあります。 ● この製品の電源コードを他の製品に転用しないでください。火災・感電のおそれがあります。 ● 電源コードを傷つけたり、加工したり、重いものを載せたり、加熱したり、無理にねじったり、曲げたり、引っぱったりして破損させないでください。傷んだ電源コード（芯線の露出、断線等）を使用すると火災のおそれがあります。
	● 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災、感電のおそれがあります。 ● タコ足配線をしないでください。コンセントに表示された電流値を超えて使用すると、火災、感電のおそれがあります。 ● 原則的に延長コードは使用しないで下さい。火災、感電のおそれがあります。やむを得ず延長コードを使用する場合は、お買い上げの販売店、または弊社カスタマ・サポートにご相談ください。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の恐れがあります。
	電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。火災、感電のおそれがあります。

	必ずアース接続してください。アース接続しないで、万一漏電した場合は火災、感電のおそれがあります。 ● アースを接続する場合は必ず電源プラグを電源に取り付ける前に行ってください。 ● アース接続を取り外す場合は必ず電源プラグを電源から取り外してから行ってください。 アース線を接続する場合は、以下のいずれかの場所に取り付けるようにしてください。 ● コンセントのアース端子 ● 接地工事を施してある接地端子（第 D 種） 次のような所には絶対にアース線を取り付けないでください。 ● ガス管（ガス爆発の原因になります） ● 電話専用アース（落雷時に大きな電流が流れ、火災・感電のおそれがあります） ● 水道管（途中が樹脂になっていて、アースの役目を果たさない場合があります）
	本製品の上に水などの入った花瓶等の容器や、クリップ等の小さな金属物などを置かないでください。こぼれて製品内に入った場合、火災、感電のおそれがあります。万一、金属片、水、液体等の異物が本製品の内部に入った場合には、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、または弊社カスタマ・サポートにご連絡ください。
	● 本製品が異常に熱くなったり、煙、異臭、異音が発生するなどの異常が発生した場合には、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、または弊社カスタマ・サポートにご連絡ください。 ● 本製品を落としたり、カバーを破損した場合は、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、または弊社カスタマ・サポートにご連絡ください。そのまま使用しますと、火災・感電のおそれがあります。
	トナーまたはトナーの入った容器を火中に投じないでください。トナーが飛び散り、やけどのおそれがあります。

⚠注意

	● 本製品をほこりの多い場所や調理台・風呂場・加湿器の側など油煙や湯気の当たる場所には置かないで下さい。火災・感電の原因となることがあります。 ● 本製品を不安定な台の上や傾いたところ、振動・衝撃の多いところに置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
	● 本製品を設置したら固定脚を使用して固定してください。動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。インストレーションガイドで固定脚を使用するよう指示がある製品については、固定脚で本体を固定してください。動いたり、倒れたりして怪我の原因になることがあります。
	本製品の内部にはやけどの原因となる高温部分があります。紙づまりの処置など内部を点検するときは、「高温注意」を促す表示がある部分（定着器周辺など）に、触れないでください。
	● 本製品の通風口をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。 ● 本製品の周囲で引火性のスプレイや液体、ガス等を使用しないでください。火災の原因となります。
	● トナーユニットや感光体ユニットは、フロッピーディスクや時計等磁気に弱いものの近くには保管しないでください。これら製品の機能に障害を与える可能性があります。 ● トナーカートリッジや感光体等を子供の手の届くところに放置しないで下さい。なめたり食べたりすると健康に障害を来す原因になることがあります。
	● プラグを抜くときは電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 ● 電源プラグのまわりに物を置かないでください。非常時に電源プラグを抜けなくなります。

	本製品を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 連休等で本製品を長期間使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
	● 本製品を移動する際は必ず使用書等で指定された場所を持って移動してください。製品が落下してけがの原因となります。 ● 本製品を狭い部屋等で使用される場合は、定期的に部屋の換気をしてください。換気の悪い状態で長期間使用すると健康に障害を与える可能性があります。 ● 電源プラグは年 1 回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因となることがあります。

換気について

換気の悪い部屋で長時間使用したり、大量の印刷を行うと、オゾンなどの臭気が気になり、快適なオフィス・家庭環境が保てない原因となります。また、印刷動作中には、化学物質の放散がありますので、換気や通風を十分行うように心掛けてください。

物質エミッションについて

粉塵、オゾン、スチレン、ベンゼンおよび TVOC の放散については、エコマーク No.122「プリンタ Version2」の物質エミッションの放散速度に関する認定基準を満たしています。（トナーは本製品用に推奨しております純正品を使用し、印刷を行った場合について、試験方法：RAL-UZ122:2006 の付録 2 に基づき試験を実施しました。）

2 次電池（充電式リチウム電池）について

本機では、2 次電池は一切使用しておりません。

印刷されたものの保存について

- 長期間保存される場合は、光による退色を防ぐため光の当たらないところに保管してください。
- 印刷されたものを貼る場合、溶剤入りの接着剤（スプレーのりなど）を使用すると、トナーが溶けることがあります。
- 通常の白黒印刷に比べてトナーの層が厚いため、強く折り曲げると折り曲げたところでトナーが剥がれることがあります。

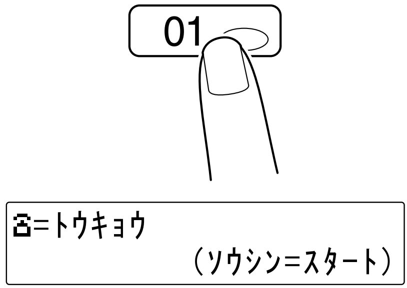
もくじ

1 はじめに

こんな機能があります

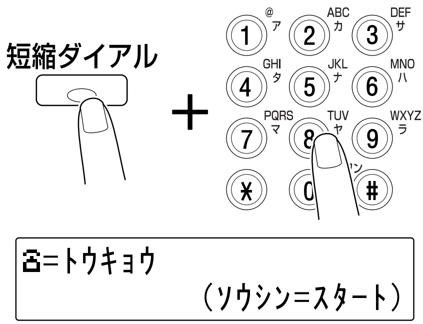
ワンタッチダイアルを使って送信する

よく送信する相手先のファクス番号を登録し、ボタンを 1 回押すだけで呼び出して送信できます。
（p. 64）



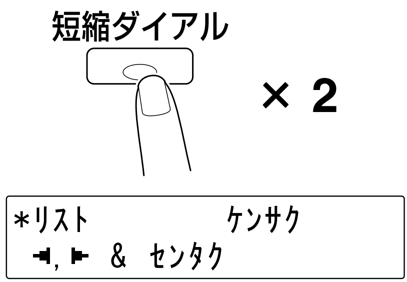
短縮ダイアルを使って送信する

よく送信する相手先のファクス番号を登録し、短縮ダイアルキーとテンキーの組合せで呼び出して送信できます。（p. 66）



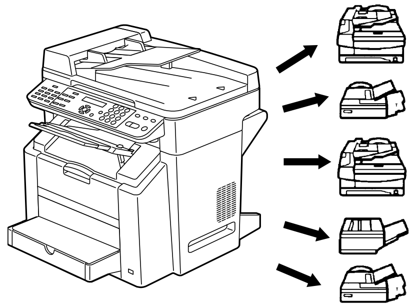
登録した相手先を検索して送信する

登録した相手先を、リストや含まれる文字から検索して送信できます。
（p. 69）



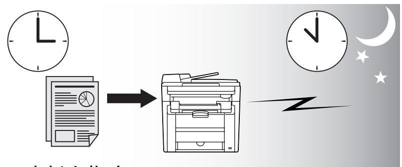
複数の相手先に送信する

1 回の送信で、複数の相手先に送信できます。（p. 76）



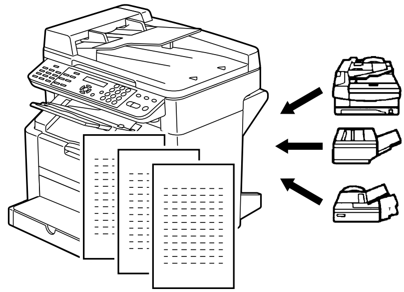
時刻を指定して送信する

指定した時刻に通信できます。深夜や早朝などの電話料金割引時間を利用して通信すると経済的です。（p. 80）



受信文書を印刷しないでメモリに保存する

機密文書を受信したときなどを想定して、受信文書を印刷しないように設定してメモリに保存できます。（p. 46）



各部の名称

以下の図は、本書で使用している本機各部の名称を示しています。

前面

1　自動原稿送り装置（ADF）
　1a　ガイド板
　1b　原稿給紙トレイ
　1c　原稿排紙トレイ

2　操作パネル

3　排紙トレイ

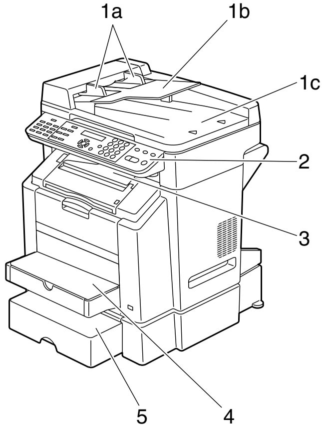
4　トレイ 1

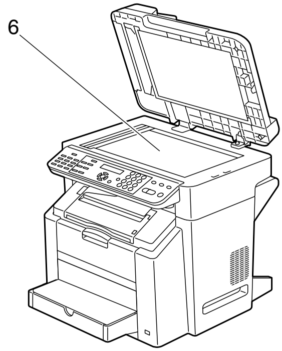
5　トレイ 2（オプション）

6　原稿ガラス



エラーメッセージなどで、ADF を「ゲンコウオサエ」と表示する場合があります。



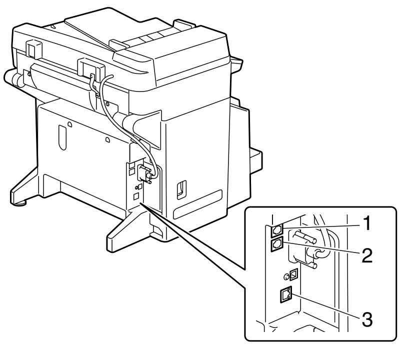


背面

1　外付け電話機接続用コネクタ（TEL）

2　回線コネクタ（LINE）

3　ネットワーク用ポート（10Base-T/100Base-TX (IEEE 802.3)）



ファクスの接続 2

各種接続方法

ここではファクスの各種接続について説明します。誤った接続は他の機器に悪影響を与える場合がありますので、正しく接続してください。

製品同梱の「magicolor 2590MF インストレーションガイド」の初期設定を行ってから本設定を行ってください。

本機に留守番電話機を接続する場合、「TEL/FAX ｷﾘｶｴ」機能をご使用になる場合は「備考」（p.19）をごらんください。

ご注意

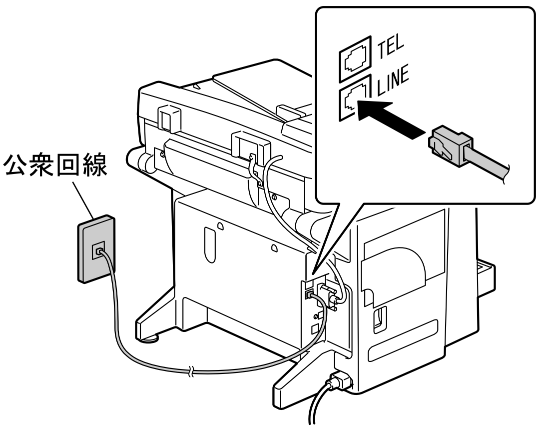
ISDN 回線 (ターミナルアダプタ、ダイアルアップルータ接続) や ADSL 回線に接続してご使用の場合 ISDN 接続機器（ターミナルアダプタ等）、ADSL 接続機器（スプリッタ等）が原因でファクス機能が正常に動作しない場合があります。その場合は、ご加入の回線業者へお問い合わせください。ファクスの設置に伴う回線工事には、「電話工事担任者」資格を必要とします。無資格者の工事は事故のもとになりますので、販売店もしくは、ご利用の電話会社にご相談ください。

ISDN 回線、ADSL 回線、デジタルテレビ、CS チューナー、ひかり電話、ホームテレフォン等との接続においては、必ずしもファクス送受信を保障するものではありません。

公衆回線への接続

公衆回線に接続し、回線をファクス専用としてご使用になる場合

ご使用の電話機コードを本機の左側面の回線コネクタ（LINE）に接続してください。



■ 本機操作パネルの設定：

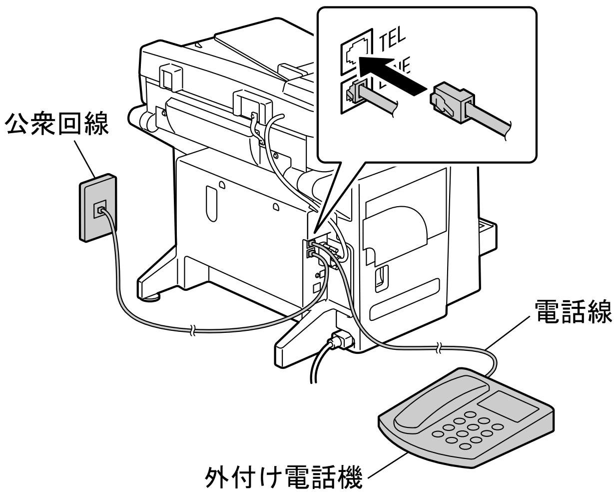
本接続をご使用になる場合は、本機操作パネルを以下に設定してご使用ください。

– ［ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ］-［PSTN/PBX］：PSTN
– ［ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ］-［TEL/FAX ｷﾘｶｴ］：ｵﾌ

公衆回線に接続し、電話とファクスの両方をご使用になる場合

本機に電話機を接続し、回線上で電話とファクスを兼用する場合の接続方法です。

ご使用の電話機を本機の左側面の外付け電話機接続用コネクタ（TEL）に接続してください。



■ 本機操作パネルの設定：

本接続をご使用になる場合は、本機操作パネルを以下に設定してご使用ください。

– ［ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ］-［PSTN/PBX］：PSTN

お使いの電話回線内ですでに何台かの電話機が接続されている場合は、本機または本機に接続されている電話機が使用できない場合があります。この場合、配線工事が必要になりますので、取付工事を行った販売店か、ご利用の電話会社にご相談ください。

本機の外付け電話機接続用コネクタ（TEL）に接続できる端末（電話機など）台数は１台です。

本機の外付け電話機接続用コネクタ（TEL）に接続した電話機がファクス内蔵電話機の場合、呼び出し応答時間設定が本機より短く設定されていると、着信時に本機側でファクスの受信ができない場合があります。ご使用の機器の取扱説明書をご参照の上、本機の呼び出し応答時間よりも長く設定してください。

各種サービス（キャッチホン / ナンバー・ディスプレイ / ダイアルインなど）は、ファクスでは使用できません。

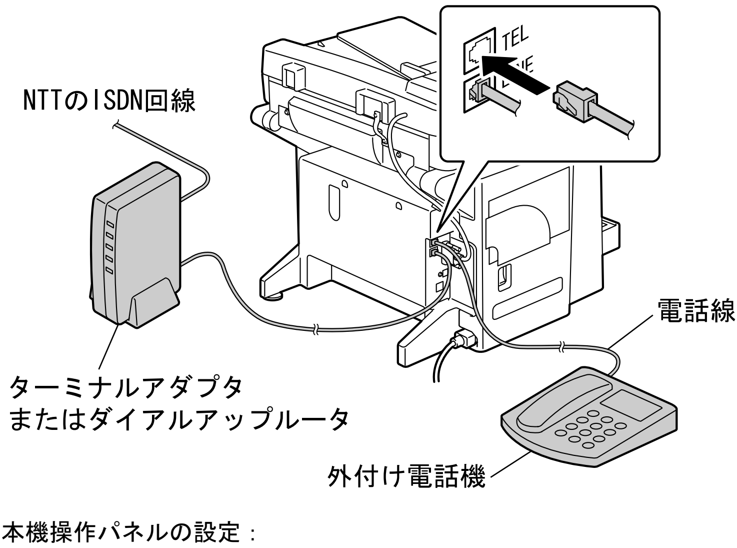
電話機子機からの転送受信はできません。

ISDN 回線への接続

ISDN 回線（電話番号が 1 つ）に接続する場合

ISDN 回線で電話番号が 1 つの場合、ターミナルアダプタ（またはダイアルアップルータ）のアナログポートに本機を接続し、ご使用の電話機を本機の左側面の外付け電話機接続用コネクタ（TEL）に接続してください。

ターミナルアダプタ（またはダイアルアップルータ）の空きポートは「使用しない」に設定してください。



■ 本機操作パネルの設定：

本接続をご使用になる場合は、本機操作パネルを以下に設定してご使用ください。

– ［ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ］-［PSTN/PBX］：PSTN

電話とファクスは同時に使用することはできません。

ターミナルアダプタ（またはダイアルアップルータ）側に本機を接続して電話の発信、着信、通話を確認してください。
万一、本機が使えないときは、ターミナルアダプタ（またはダイアルアップルータ）の設定を確認してください。

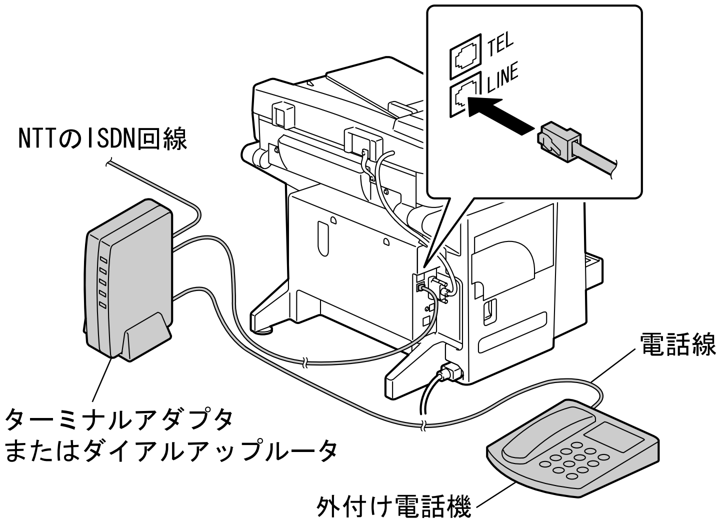
ターミナルアダプタ（またはダイアルアップルータ）によってはブランチ接続（並列接続）が動作保障外の場合があります。
ターミナルアダプタ（またはダイアルアップルータ）の仕様についてはターミナルアダプタ（またはダイアルアップルータ）の取扱い説明書をご覧いただくかターミナルアダプタ（またはダイアルアップルータ）の販売メーカーにお問い合わせください。

本機の外付け電話機接続用コネクタ（TEL）に接続した電話機がファクス内蔵電話機の場合、呼び出し応答時間設定が本機より短く設定されていると、着信時に本機側でファクスの受信ができない場合があります。ご使用の機器の取扱説明書をご参照の上、本機の呼び出し応答時間よりも長く設定してください。

ISDN 回線（電話番号が 2 つ）に接続する場合

電話番号とファクス番号を使い分けることが可能です。

ターミナルアダプタ（またはダイアルアップルータ）のファクス用電話番号が割り当てられているアナログポートに本機を接続してください。



■ 本機操作パネルの設定：

本接続をご使用になる場合は、本機操作パネルを以下に設定してご使用ください。

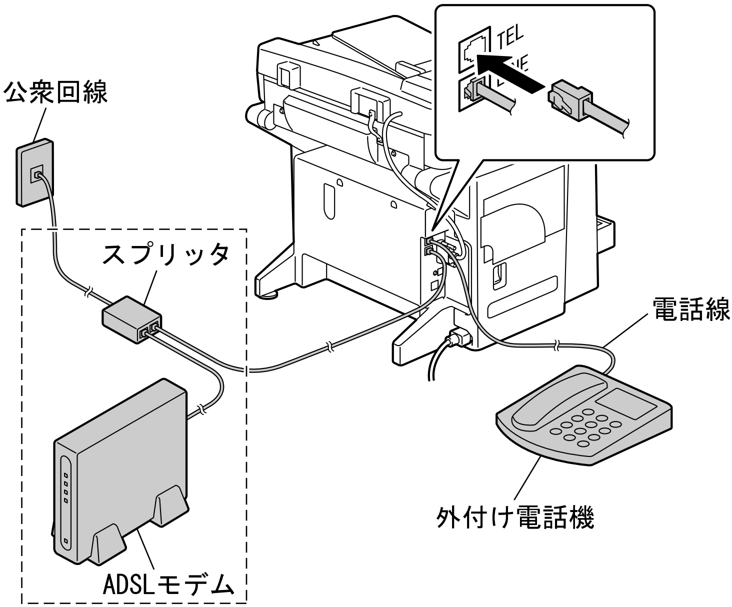
– ［ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ］-［PSTN/PBX］：PSTN
– ［ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ］-［TEL/FAX ｷﾘｶｴ］：ｵﾌ

本機の外付け電話機接続用コネクタ（TEL）に接続した電話機がファクス内蔵電話機の場合、呼び出し応答時間設定が本機より短く設定されていると、着信時に本機側でファクスの受信ができない場合があります。ご使用の機器の取扱説明書をご参照の上、本機の呼び出し応答時間よりも長く設定してください。

ADSL 回線に接続する場合

スプリッタの TEL 側端子に本機を接続し、ご使用の電話機を本機の左側面の外付け電話機接続用コネクタ（TEL）に接続してください

誤った接続の場合、ノイズや通信エラーの原因になります。



■ 本機操作パネルの設定：

本接続をご使用になる場合は、本機操作パネルを以下に設定してご使用ください。

– ［ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ］-［PSTN/PBX］: PSTN
– ［ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ］-［TEL/FAX ｷﾘｶｴ］: ｵﾝ
– ［ｼﾞｭｼﾝｾｯﾃｲ］-［ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ］: ｵｰﾄ RX

並列（ブランチ）接続はおやめください。通話音質の低下、ノイズの発生、通信エラーなどの原因になります。

IP フォンを使用してファクス通信を行う場合は、お客様が契約されているプロバイダの通信品質が保証されていることを確認してください。

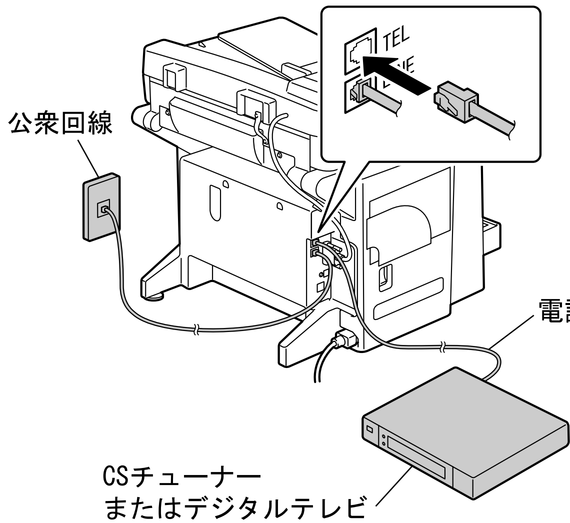
自分の声または相手の声が聞きづらい（ひびく）場合、スプリッタが影響している可能性がありますのでスプリッタを交換すると改善する場合があります。

接続イメージ図内の点線枠の部分は、使用機器によって一体型の ADSL モデムの場合もあります。

本機の外付け電話機接続用コネクタ（TEL）に接続した電話機がファクス内蔵電話機の場合、呼び出し応答時間設定が本機より短く設定されていると、着信時に本機側でファクスの受信ができない場合があります。ご使用の機器の取扱説明書をご参照の上、本機の呼び出し応答時間よりも長く設定してください。

デジタルテレビや CS チューナーに接続する場合

デジタルテレビや CS チューナーは、本機の左側面の外付け電話機接続用コネクタ（TEL）に接続します。



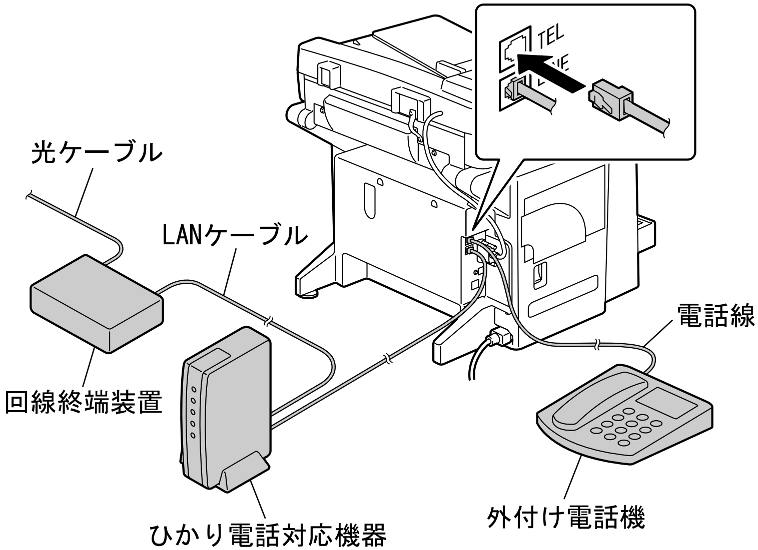
■ 本機操作パネルの設定：

本接続をご使用になる場合は、本機操作パネルを以下に設定してご使用ください。

– ［ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ］-［PSTN/PBX］：PSTN
– ［ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ］-［TEL/FAX ｷﾘｶｴ］：ｵﾝ
– ［ｼﾞｭｼﾝｾｯﾃｲ］-［ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ］：ｵｰﾄ RX

ひかり電話に接続する場合

ひかり電話対応機器（ルータなど）のアナログポートに本機を接続し、ご使用の電話機を本機の左側面の外付け電話機接続用コネクタ（TEL）に接続してください。



■ 本機操作パネルの設定：

本接続をご使用になる場合は、本機操作パネルを以下に設定してご使用ください。

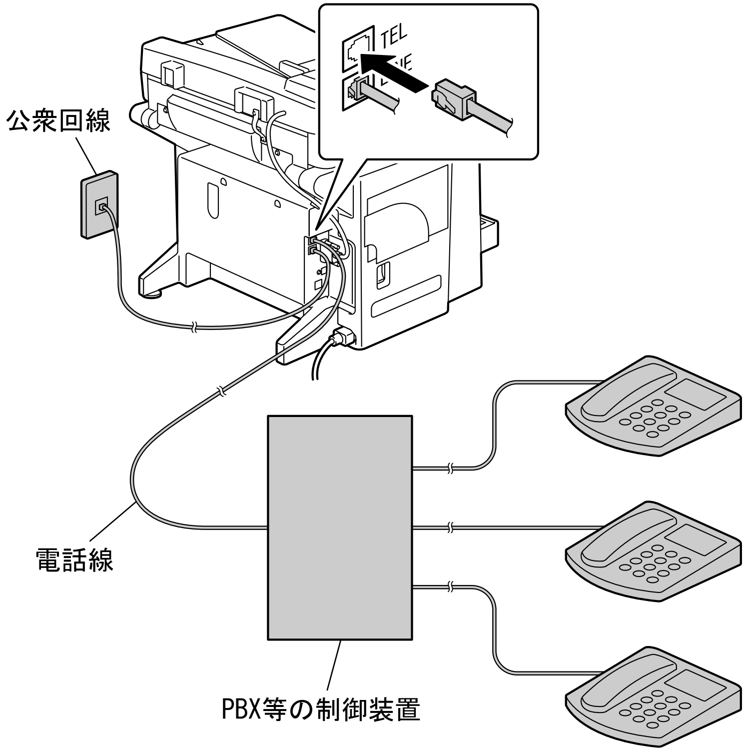
– ［ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ］-［PSTN/PBX］：PSTN

ひかり電話の詳しいサービス内容、およびひかり電話対応機器の設定方法や不具合は NTT にお問い合わせください。
ひかり電話対応機器へ設定するデータは、NTT から郵送される書面をご確認ください。

構内交換機（PBX）、ビジネスフォン、ホームテレフォンに接続する場合

PBX などの制御装置は、本機の左側面の外付け電話機接続用コネクタ（TEL）に接続します。

回線数が 1 つの場合の例を示します。



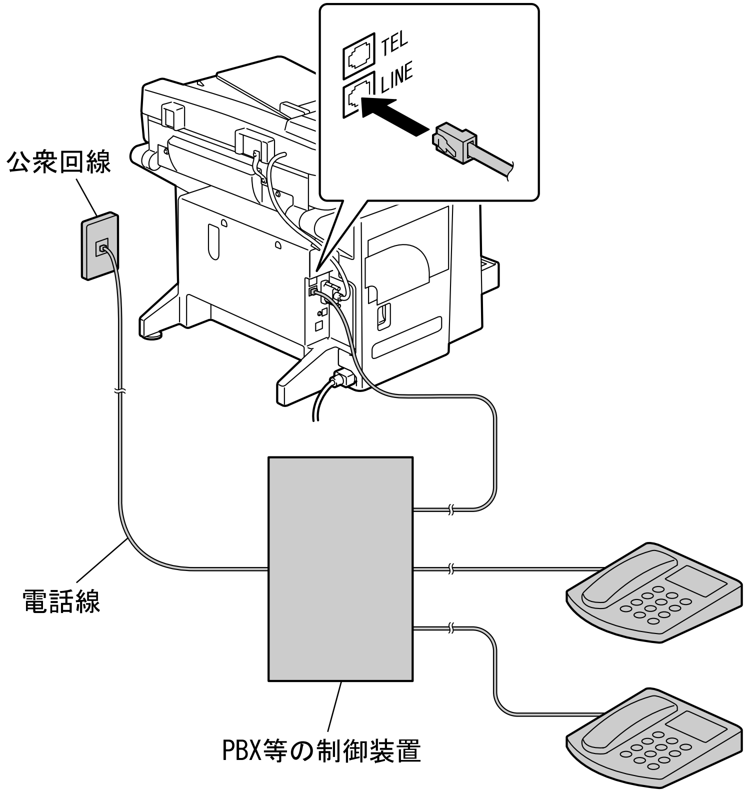
■ 本機操作パネルの設定：

本接続をご使用になる場合は、本機操作パネルを以下に設定してご使用ください。

- ［ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ］-［PSTN/PBX］：PSTN
- ［ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ］-［TEL/FAX ｷﾘｶｴ］：ｵﾝ
- ［ｼﾞｭｼﾝｾｯﾃｲ］-［ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ］：ｵｰﾄ RX

内線電話として接続する場合

構内交換機（PBX）またはビジネスフォンを使用しているところに本機を内線接続する場合、構内交換機（PBX）またはビジネスフォン主装置の設定をアナログ２芯用に変更してください。詳細は、配線工事を実施した販売店にご相談ください。



■ 本機操作パネルの設定：

本接続をご使用になる場合は、本機操作パネルを以下に設定してご使用ください。

– ［ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ］-［PSTN/PBX］：PBX

備考

本機操作パネルのメニューとの組合せにより更に便利にご使用いただけます。

■ 外付け電話機を接続して TEL/ ファクスを自動切替したい場合

以下の設定によりファクスの場合は自動受信され、TEL の場合は電話着信を示します。

必用に応じて設定してください。

– ［ｼﾞｭｼﾝｾｯﾃｲ］-［ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ］: ｵｰﾄ RX
– ［ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ］-［TEL/FAX ｷﾘｶｴ］: ｵﾝ
– ［ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ］– ［ﾙｽﾊﾞﾝ ﾃﾞﾝﾜｾﾂｿﾞｸ］: ｵﾌ

■ 外付け電話機を接続して留守番電話を使用する場合

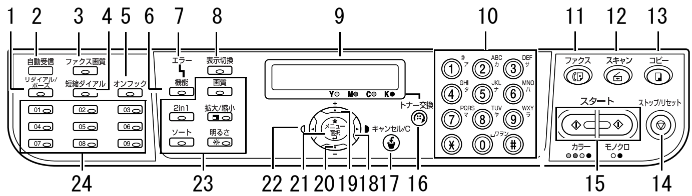
本機に留守番電話を接続する場合は、本機操作パネルを以下に設定してご使用ください。

– ［ｼﾞｭｼﾝｾｯﾃｲ］-［ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ］: ｵｰﾄ RX
– ［ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ］-［ﾙｽﾊﾞﾝ ﾃﾞﾝﾜ ｾﾂｿﾞｸ］: ｵﾝ
– ［ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ］–［TEL/FAX ｷﾘｶｴ］: ｵﾌ

3

操作パネルとメニュー

操作パネルについて



No.	名称	機能
1	リダイアル / ポーズキー	■ 最後に送信したファクス番号を表示します。詳しくは、「リダイアル機能を使用して送信する」（p.74）をごらんください。 ■ 送信するファクス番号にポーズを入れます。
2	自動受信ランプ	自動受信に設定されているときに点灯します。詳しくは、「自動受信（ファクス専用）」（p.91）、「自動受信（TEL/FAX 自動切替え）」（p.92）、「自動受信（外付け電話機の留守番機能を使用）」（p.94）をごらんください。
3	ファクス画質キー	送信の解像度を設定します。 詳しくは、「解像度を調整する」（p.61）をごらんください。
4	短縮ダイアルキー	3 桁の数字を組み合わせて、あらかじめ登録されている相手先にダイアルします。 詳しくは、「短縮ダイアル番号を使って送信する」（p.66）をごらんください。
5	オンフックキー	受話器をとった状態にします。もう一度キーを押すと受話器を置いた状態に戻ります。 詳しくは、「ファクスを手動送信する」（p.83）をごらんください。
6	機能キー	機能設定モードに切り替わり、機能設定モードの最初のメニューを表示します。 詳しくは、「複数の相手先に送信する（同報送信）」（p.76）、「指定した時間にファクスを送信する（時刻指定送信）」（p.80）、「メモリに蓄積された送信文書を削除する」（p.86）をごらんください。
7	エラーランプ	操作が必要であるとき点灯します。 詳しくは、「エラーメッセージ」（p.139）をごらんください。

No.	名称	機能
8	表示切替キー	本機の状態や設定内容を印刷します。 詳しくは、「通信管理」（p.125）をごらんください。
9	メッセージウィンドウ	設定メニュー項目やメッセージが表示されます。 詳しくは、「ファクスモード画面」（p.26）をごらんください。
10	テンキー	ファクス番号、名前などを入力します。 相手先の指定については、「相手先を指定する」（p.62）を、入力方法については、「入力のしかた」（p.143）をごらんください。
11	ファクスキー	ファクスができる状態にします。 詳しくは、「ファクスモード画面」（p.26）をごらんください。
12	スキャンキー	スキャンができる状態にします。（スキャンしたデータをメールで送信する場合） 詳しくは、「プリンタ / コピー / スキャナ　ユーザーズガイド」をごらんください。
13	コピーキー	コピーができる状態にします。 詳しくは、「プリンタ / コピー / スキャナ　ユーザーズガイド」をごらんください。
14	ストップ / リセットキー	変更した設定を取り消したり、機能を停止したりします。 詳しくは、「基本的な送信のしかた」（p.54）をごらんください。
15	スタートキー	ファクスを開始します。 詳しくは、「基本的な送信のしかた」（p.54）、「手動受信（主に電話専用）」（p.95）をごらんください。
16	トナー交換キー	トナー交換するときに押します。 詳しくは、「プリンタ / コピー / スキャナ　ユーザーズガイド」をごらんください。
17	キャンセル /C キー	■ 設定メニュー画面からメイン画面への切り換えができます。 ■ 入力した文字を削除します。 ■ 詳しくは、「設定メニューを設定する」（p.45）、「入力のしかた」（p.143）をごらんください。

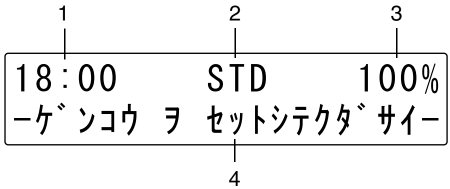
No.	名称	機能
18	▶	■ メニューの設定値の表示を右へ移動します。 ■ 文字の入力中は、入力した文字を確定し、カーソルを右に移動します。 ■ 詳しくは、「設定メニューを設定する」（p.45）、「入力のしかた」（p.143）をごらんください。
19	▲	■ 設定メニューの項目を上へ移動します。 ■ メニューの設定値の表示を上へ移動します。 ■ 詳しくは、「設定メニューを設定する」（p.45）をごらんください。
20	▼	■ 設定メニューの項目を下へ移動します。 ■ メニューの設定値の表示を下へ移動します。 ■ 詳しくは、「設定メニューを設定する」（p.45）をごらんください。
21	メニュー選択キー	■ 設定メニューを表示します。 ■ 選択した設定メニューの項目を表示します。 ■ 表示されている設定を確定します。 ■ 詳しくは、「設定メニューを設定する」（p.45）をごらんください。
22	◀	■ メニューの設定値の表示を左へ移動します。 ■ 文字の入力中は、入力した文字を確定し、カーソルを左に移動します。 ■ 詳しくは、「設定メニューを設定する」（p.45）、「入力のしかた」（p.143）をごらんください。
23	コピー操作キー	コピー操作をするキーです。 詳しくは、「プリンタ / コピー / スキャナ　ユーザーズガイド」をごらんください。 *ファクスモード表示中にコピー操作キーを押すと、コピーモードに切り替わります。詳しくは、「プリンタ / コピー / スキャナ　ユーザーズガイド」をごらんください。*

No.	名称	機能
24	ワンタッチダイアルキー	■ ワンタッチダイアルに送信先を登録したり、登録した相手先を表示したりします。 詳しくは、「ワンタッチダイアルキーを使って送信する」(p.64)、「ワンタッチダイアル」(p.105)をごらんください。

ファクスモード画面

ファクスモード画面について

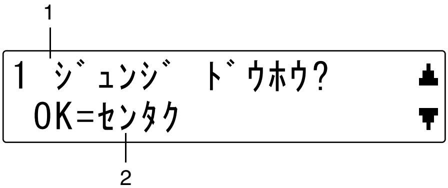
ファクスキーを押すと、ファクスモード画面が表示されます。



No.	名称	説明
1	時刻	設定メニューの「ﾆﾁｼﾞ ｾｯﾃｲ」で設定した現在の時刻が表示されます。
2	解像度	選択されている解像度が表示されます。
3	メモリ残量	原稿の読込みが可能なメモリ残量が表示されます。
4	メッセージ	操作方法などのメッセージが表示されます。

機能画面について

機能キーを押すと、機能画面が表示されます。



No.	名称	説明
1	機能名	1 ｼﾞｭﾝｼﾞﾄﾞｳﾎｳ 1 回のファクス送信で複数の相手先に送信できます。詳細は「複数の相手先に送信する（同報送信）」（p.76）を参照してください。 2 ｼﾞｺｸｼﾃｲｿｳｼﾝ 原稿をメモリに読み込ませ、指定した時間に送信できます。詳細は「指定した時間にファクスを送信する（時刻指定送信）」（p.80）を参照してください。 3 ﾖﾔｸｷｬﾝｾﾙ タイマー送信待ちなど、メモリに蓄積された文書を削除します。詳細は「メモリに蓄積された送信文書を削除する」（p.86）を参照してください。
2	メッセージ	操作方法などのメッセージが表示されます。

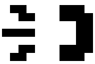
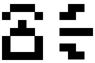
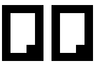
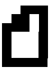
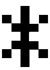
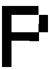
ファクスモードへ切り替えるには

ファクス機能を使うときは、ファクスキーが緑色に点灯していることを確認します。

緑色の点灯していない場合は、ファクスキーを押してファクスモードに切り替えます。

コピーモード中またはスキャンモード中に、短縮ダイアルキー、リダイアル / ポーズキー、ワンタッチダイアルキーを押すと、ファクスモードに切り替わります。

画面シンボル一覧

シンボル		説明
	ダイアル中	本機が相手先を呼び出しているところです。
	着信中	着信があり、呼び出されているところです。
	送信中	原稿が送信されているところです。
	受信中	相手先からの文書を受信しているところです。
	読み込んだ原稿のページ数	読み込んだ原稿のページ数がこのシンボルの横に表示されます。
	トーン	通信設定でパルスが設定されている場合、このシンボルが表示されているときは、トーンを送出します。
	ポーズ	ファクス番号中にポーズが挿入されています。
	タイマー通信予約あり	タイマー通信が予約されています。
	メモリ受信中	メモリ受信が設定されています。

操作パネルの設定メニュー一覧

本機の操作パネルで設定できるメニューの構成は以下のとおりです。

- メニュー選択
  - ﾎﾝﾀｲ ｾｯﾃｲ
    - 1 ｵｰﾄﾘｾｯﾄ
    - 2 ｽﾘｰﾌﾟ ﾓｰﾄﾞ
    - 3 LCD ｺﾝﾄﾗｽﾄ
    - 4 Language
    - 5 ﾗﾝﾌﾟ ｵﾌ ｼﾞｶﾝ
    - 6 ﾌﾞｻﾞｰ ｵﾝﾘｮｳ
    - 7 ｼｮｷ ﾓｰﾄﾞ
    - 8 ﾄﾅｰﾅｼ ﾃｲｼ
    - 9 ﾄﾅｰｶﾞ ﾉｺﾘﾜｽﾞｶﾃﾞｽ
    - 10 ｼﾞﾄﾞｳ ｹｲｿﾞｸ
    - 11 ｶｲﾁｮｳ ﾎｾｲ
    - 12 ﾘﾓｰﾄ ﾓﾆﾀ
  - ﾄﾚｲ ｾｯﾃｲ
    - 1 ﾄﾚｲ 1 ﾖｳｼ
      - ﾌﾂｳｼ
      - OHP ﾌｨﾙﾑ
      - ﾗﾍﾞﾙ ﾖｳｼ
      - ﾚﾀｰﾍｯﾄﾞ

        - ﾌｳﾄｳ
        - ｶﾝｾｲ ﾊｶﾞｷ
        - ｱﾂｶﾞﾐ
        - ｺｳﾀｸｼ
    - 2 ﾄﾚｲ 2 ﾖｳｼ
        - A4
        - ﾚﾀｰ
- ｺﾋﾟｰ ｾｯﾃｲ
    - 1 ﾓｰﾄﾞ
    - 2 ﾉｳﾄﾞ ﾚﾍﾞﾙ（ｵｰﾄ）
    - 3 ﾉｳﾄﾞ ﾚﾍﾞﾙ（ﾏﾆｭｱﾙ）
    - 4 ﾌﾞﾀﾝｲ ｲﾝｻﾂ
    - 5 ｶﾞｼﾂ
    - 6 ﾕｳｾﾝ ﾖｳｼ
- ﾌｧｸｽ ﾄｳﾛｸ
    - 1 ﾜﾝﾀｯﾁ ﾀﾞｲｱﾙ
    - 2 ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ
    - 3 ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ
- ｿｳｼﾝ ｾｯﾃｲ
    - 1 ｽｷｬﾝ ﾉｳﾄﾞ
    - 2 ｶｲｿﾞｳﾄﾞ

- 3 ﾍｯﾀﾞ
- ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ
  - 1 ﾒﾓﾘ ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ
  - 2 ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｶｲｽｳ
  - 3 ｼｭｸｼｮｳ ｼﾞｭｼﾝ
  - 4 ｼﾞｭｼﾝ ﾌﾟﾘﾝﾄ
  - 5 ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ
  - 6 ﾌｯﾀ
  - 7 ﾄﾚｲ ｾﾝﾀｸ
- ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ
  - 1 ﾃﾞﾝﾜｾﾝ ﾉ ﾀｲﾌﾟ
  - 2 ﾓﾆﾀ ｵﾝﾘｮｳ
  - 3 PSTN/PBX
  - 4 TEL/FAX ｷﾘｶｴ
  - 5ﾃﾞﾝﾜﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｼﾞｶﾝ
  - 6 ﾙｽﾊﾞﾝﾃﾞﾝﾜ ｾﾂｿﾞｸ
- ﾚﾎﾟｰﾄ ｾｯﾃｲ
  - 1 ﾂｳｼﾝ ｶﾝﾘ ﾚﾎﾟｰﾄ
  - 2 ｿｳｼﾝ ｹｯｶ ﾚﾎﾟｰﾄ
  - 3 ｼﾞｭｼﾝ ｹｯｶ ﾚﾎﾟｰﾄ

- ﾕｰｻﾞｰ ｾｯﾃｲ
  - 1 ﾌｧｸｽ PTT ｾｯﾃｲ
  - 2 ﾆﾁｼﾞ ｾｯﾃｲ
    - ｼﾞｶﾝﾉ ｾｯﾃｲ
    - ﾌﾝ ﾉ ｾｯﾃｲ
    - ﾈﾝ ﾉ ｾｯﾃｲ
    - ﾂｷ ﾉ ｾｯﾃｲ
    - ﾋ ﾉ ｾｯﾃｲ
  - 3 ﾋﾂﾞｹ ﾉ ｹｲｼｷ
  - 4 ｺﾃｲ ﾊﾞｲﾘﾂ
  - 5 ﾌｧｸｽ ﾊﾞﾝｺﾞｳ
  - 6 ﾊｯｼﾝ ﾓﾄ
- ﾀﾞｲﾚｸﾄ ﾌﾟﾘﾝﾄ
  - 1 ｶﾞｿﾞｳ ﾋﾝｼﾂ
  - 2 ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ
    - ﾄﾚｲ 1
      - ﾌﾂｳｼ
      - ﾗﾍﾞﾙ ﾖｳｼ
      - ｶﾝｾｲ ﾊｶﾞｷ
      - ｱﾂｶﾞﾐ
      - ｺｳﾀｸｼ
    - ﾄﾚｲ 2
      - A4

- ﾚﾀｰ
- 3 N-UP ﾚｲｱｳﾄ
- ﾈｯﾄﾜｰｸ ｾｯﾃｲ
  - 1 IP ｱﾄﾞﾚｽ
  - 2 ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ
  - 3 ｹﾞｰﾄｳｪｲ
  - 4 DNS ｾｯﾃｲ
  - 5 DDNS ｾｯﾃｲ
- ﾒｰﾙ ｾｯﾃｲ
  - 1 ｿｳｼﾝｼｬ ﾒｲ
  - 2 ﾒｰﾙ ｱﾄﾞﾚｽ
  - 3 SMTP ｻｰﾊﾞ
  - 4 SMTP ﾎﾟｰﾄ No.
  - 5 SMTP ｻｰﾊﾞ ﾀｲﾑｱｳﾄ
  - 6 ﾃｷｽﾄ ｿｳﾆｭｳ
  - 7 ｹﾝﾒｲ
- ｽｷｬﾅ ｾｯﾃｲ
  - 1 ｶｲｿﾞｳﾄﾞ
  - 2 ｼｭﾂﾘｮｸ ﾌｧｲﾙ ｹｲｼｷ
  - 3 ﾌｺﾞｳｶ ﾎｳｼｷ

設定メニュー

常用する設定が初期設定となるように、設定メニューで変更できます。

太字は工場出荷時の設定値を表します。

設定メニューの設定については、「設定メニューを設定する」（p.45）をごらんください。

ﾄﾚｲ ｾｯﾃｲ、ｺﾋﾟｰ ｾｯﾃｲ、ﾀﾞｲﾚｸﾄ ﾌﾟﾘﾝﾄ、ﾒｰﾙ ｾｯﾃｲ、ｽｷｬﾅ ｾｯﾃｲの設定については、「プリンタ / コピー / スキャナ　ユーザーズガイド」をごらんください。

ﾈｯﾄﾜｰｸ ｾｯﾃｲの設定については、「リファレンスガイド」をごらんください。

ﾎﾝﾀｲ ｾｯﾃｲ

1 ｵｰﾄ ﾘｾｯﾄ	設定	**ｵﾝ** / ｵﾌ
	本機を操作しなくなってから一定時間経過したとき、全ての設定を取り消し、初期設定に戻すかどうかを選択します。 ｵﾝを選択した場合、自動リセット機能がはたらくまでの時間を選択します。 時間の設定範囲 0.5、1、2、3、4、5 分 （工場出荷時の設定値は 1 分） ｵﾌを選択した場合、自動リセット機能ははたらきません。	
2 ｽﾘｰﾌﾟ ﾓｰﾄﾞ	設定	5/15/**30**/60
	本機を一定時間使用しない場合に、節電モードへ移行するまでの時間を設定します。 単位は分です。	
3 LCD ｺﾝﾄﾗｽﾄ	設定	ｳｽｲ ◁□■□□▶ ｺｲ
	メッセージウィンドウの明るさを設定します。	
4 Language	設定	English / French / German / Italian / Spanish / Portuguese / Russian / Czech / Slovakian / Hungarian / Polish / **Japanese**
	メッセージウィンドウの表示言語を、選択した言語に切り替えることができます。 *文字が正しく表示されないため、English および Japanese 以外の言語は選択しないでください。*	
5 ﾗﾝﾌﾟ ｵﾌ ｼﾞｶﾝ	設定	**ﾓｰﾄﾞ 1**/ ﾓｰﾄﾞ 2
	何も操作が行われなかった場合に、スキャナユニットのランプをオフにするまでの時間を設定します。 「ﾓｰﾄﾞ 1」に設定した場合は、本機が 4 時間操作が行われないとランプがオフになります。 「ﾓｰﾄﾞ 2」に設定した場合は、本機が節電モードに移行した時にランプがオフになります。	
6 ﾌﾞｻﾞｰ ｵﾝﾘｮｳ	設定	ｵｵｷｲ / **ﾁｲｻｲ** / ｵﾌ
	警告音とキーを押したときの確認音の音量を設定します。	

7 ｼｮｷ ﾓｰﾄﾞ	設定	**ｺﾋﾟｰ** / ﾌｧｸｽ
	本機の電源を ON した後またはオートリセット後のモードを設定します。	
8 ﾄﾅｰﾅｼ ﾃｲｼ	設定	**ｵﾝ** / ｵﾝ（ﾌｧｸｽ）/ ｵﾌ
	トナーが無くなったときに、印刷を停止するかどうかを設定します。 印刷を停止する場合、停止中に受信したファクスはメモリに保存され、エラー解除後、自動的に印刷されます。 ■ ｵﾝ : トナーエンプティを検出したときに、すべての印刷を停止します。 ■ ｵﾝ（ﾌｧｸｽ）: トナーエンプティを検出したときに、ファクスの印刷のみ停止します。メッセージウィンドウにメッセージが表示されます。 ■ ｵﾌ : トナーエンプティを検出しても、印刷を停止しません。メッセージウィンドウにメッセージが表示されます。	
9 ﾄﾅｰｶﾞ ﾉｺﾘﾜｽﾞｶﾃﾞｽ	設定	ｵﾝ / **ｵﾌ**
	トナーの残りが少なくなると、メッセージが表示されます。	
10 ｼﾞﾄﾞｳ ｹｲｿﾞｸ	設定	ｵﾝ / **ｵﾌ**
	印刷で用紙サイズエラーになった場合、印刷を継続するか、停止するかを選択します。	
11 ｶｲﾁｮｳ ﾎｾｲ	設定	ｵﾝ / **ｵﾌ**
	画像階調を補正します。 ｵﾝに設定すると、画像階調の補正を開始します。	
12 ﾘﾓｰﾄ ﾓﾆﾀ	設定	ｵﾝ / **ｵﾌ**
	リモートモニタを設定するかどうかを選択します。 ｵﾝに設定すると、サービス技術者がメニューモードにアクセスするこができます。 ｵﾌに設定すると、サービス技術者がメニューモードにアクセスすることができません。 *この機能はサービス技術者のために設定する機能です。操作が必要な場合のみ設定をｵﾝにしてください。*	

ﾌｧｸｽ ﾄｳﾛｸ

1 ﾜﾝﾀｯﾁ ﾀﾞｲｱﾙ	よく使うファクス番号またはメールアドレスを、ワンタッチダイアルキーに登録します。ファクス番号の手入力をしないため、簡単に呼び出せ、正確に相手先を指定できます。 ワンタッチダイアルは最大 9 件登録できます。 詳しくは、「ワンタッチダイアル」（p.105）をごらんください。
2 ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ	よく使うファクス番号またはメールアドレスを、短縮ダイアル番号に登録します。ファクス番号の手入力をしないため、簡単に呼び出せ、正確に相手先を指定できます。 短縮ダイアル番号は最大 100 件登録できます。 詳しくは、「短縮ダイアル」（p.111）をごらんください。
3 ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ	よく使う同報相手先を、ワンタッチダイアルキーに登録します。ワンタッチダイアルキーを押すだけで、複数相手先を呼び出せきます。 1 つのグループダイアルに、最大 50 件登録できます。 グループダイアルは最大 9 件登録できます。 詳しくは、「グループダイアル」（p.118）をごらんください。

ｿｳｼﾝ ｾｯﾃｲ

<table>
<tr><td rowspan="2">1 ｽｷｬﾝ ﾉｳﾄﾞ</td><td>設定</td><td>ｳｽｲ◁□■□▷ｺｲ</td></tr>
<tr><td colspan="2">原稿をスキャンするときの濃度を設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2 ｶｲｿﾞｳﾄﾞ</td><td>設定</td><td>STD / FINE / S/F / H/T</td></tr>
<tr><td colspan="2">スキャン解像度（ファクス画質）の初期値を選択します。
■ STD：手書きなどを含む通常の原稿の場合に設定します。（標準）
■ FINE：小さい文字を含む原稿の場合に設定します。（ファイン）
■ S/F：新聞などの小さい文字を含む原稿や精密図の場合に設定します。（スーパーファイン：高精細）
■ H/T：写真などの濃淡のある原稿の場合に設定します。（ハーフトーン）
「H/T」を選択した場合は、「STD」、「FINE」、「S/F」を選択する画面が表示されます。
送信時に、ここで設定した初期値から解像度を変更する場合は、ファクス画質キーを押します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3 ﾍｯﾀﾞ</td><td>設定</td><td>ｵﾝ / ｵﾌ</td></tr>
<tr><td colspan="2">送信先の文書に本機の発信元情報（送信日時、送信者名、送信者ファクス番号、セッション番号、ページ番号）を印字するかどうかを設定します。</td></tr>
</table>

ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ

<table>
<tr><td rowspan="2">1 ﾒﾓﾘ ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ</td><td>設定</td><td>ｵﾝ / ｵﾌ</td></tr>
<tr><td colspan="2">機密文書の受信のため、メモリ受信する（ｵﾝ）かしない（ｵﾌ）かを設定します。メモリ受信モードが「ｵﾝ」の場合は、受信文書はメモリに蓄積され、指定した時間に出力されます。または、メモリ受信モードを「ｵﾌ」にしたときに、出力されます。
メモリ受信モードを設定するときに、パスワードの設定もできます。パスワードは設定をキャンセルするときにも必要になります。
詳しくは、「メモリ受信モード（ﾒﾓﾘ ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ）」（p.46）をごらんください。</td></tr>
</table>

2 ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｶｲｽｳ	設定	0 ～ 15（初期値：2）
	ファクス受信開始までの呼び出し音の回数を 0 ～ 15 の間で入力します。 留守番電話を接続して使用する場合は、設定メニューの「ﾙｽﾊﾞﾝﾃﾞﾝﾜｾﾂｿﾞｸ」を「ｵﾝ」に設定し、留守番電話機側の応答するまでの呼び出し回数は本設定より短く設定してください。「ﾙｽﾊﾞﾝﾃﾞﾝﾜｾﾂｿﾞｸ」について詳しくは「ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ」（p.41）をごらんください。	
3 ｼｭｸｼｮｳ ｼﾞｭｼﾝ	設定	**ｵﾝ** / ｵﾌ / ｶｯﾄ
	本機にセットされている印刷用紙よりも長い文書を受信したときに、縮小するか、分割するか、破棄するかを選択します。 ■ ｵﾝ：縮小して印刷します。 ■ ｵﾌ：等倍で、分割して印刷します。 ■ ｶｯﾄ：用紙に収まらない部分を破棄して印刷します。受信文書の長さと実際に記録される文書の関係については、「受信時の記録方法について」（p.97）をごらんください。	
4 ｼﾞｭｼﾝ ﾌﾟﾘﾝﾄ	設定	**ﾒﾓﾘ RX**/ ﾌﾟﾘﾝﾄ RX
	受信文書の印刷を、全ページ受信後に印刷を開始するか、1 ページ目を受信後から印刷を開始するかどうかを選択します。 ■ ﾒﾓﾘ RX: 全ページを受信後、印刷を開始します。 ■ ﾌﾟﾘﾝﾄ RX: 1 ページ目を受信後、印刷を開始します。	
5 ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ	設定	**ｵｰﾄ RX**/ ﾏﾆｭｱﾙ RX
	受信モードを自動受信にするか、手動受信にするかを選択します。 ■ ｵｰﾄ RX：ファクスの着信後自動的に受信する場合に設定します。 ■ ﾏﾆｭｱﾙ RX：ファクスの着信後自動的に受信しません。外付け電話機の受話器を上げるかオンフックキーを押してから、スタートキーを押すと、受信が開始されます。	
6 ﾌｯﾀ	設定	ｵﾝ / **ｵﾌ**
	受信した文書に受信情報（受信日時、相手先ファクス番号など）を文書の下部に印字するかどうかを設定します。	

<table>
<tr><td rowspan="2">7 ﾄﾚｲ ｾﾝﾀｸ</td><td>設定</td><td>ﾄﾚｲ 1：ｷﾝｼ / ｷｮｶ
ﾄﾚｲ 2：ｷﾝｼ / ｷｮｶ</td></tr>
<tr><td colspan="2">受信文書やレポートを印刷するときに、どちらの給紙トレイを使うか選択します。
トレイ 2 がインストールされていない場合は、「ﾄﾚｲ 2」は表示されません。</td></tr>
</table>

ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ

<table>
<tr><td rowspan="2">1 ﾃﾞﾝﾜｾﾝ ﾉ ﾀｲﾌﾟ</td><td>設定</td><td>ﾄｰﾝ / ﾊﾟﾙｽ</td></tr>
<tr><td colspan="2">回線の種類を選択します。回線の種類が正しく選択されていないと、ファクス通信はできません。

ご使用の回線の種類を確認してから、設定してください。

ﾕｰｻﾞｰ ｾｯﾃｲの「ﾌｧｸｽ PTT ｾｯﾃｲ」が「USA」、「Canada」、「New Zealand」の場合、設定は変更できません。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2 ﾓﾆﾀ ｵﾝﾘｮｳ</td><td>設定</td><td>ｵｵｷｲ / ﾁｲｻｲ / ｵﾌ</td></tr>
<tr><td colspan="2">回線モニタ音の音量を選択します。

設定が「ｵﾌ」の場合でも、オンフックキーを押したときにはモニタ音が聞こえます。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3 PSTN/PBX</td><td>設定</td><td>PSTN / PBX</td></tr>
<tr><td colspan="2">PSTN または PBX は、ご利用の環境に合わせて選択します。

■ PSTN : ご利用の環境に電話交換機などがない場合に選択します。

■ PBX : ご利用の環境に電話交換機などがあり、内線電話システムなどを用いている場合に選択します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">4 TEL/FAX ｷﾘｶｴ</td><td>設定</td><td>ｵﾝ / ｵﾌ</td></tr>
<tr><td colspan="2">着信後、自動的に電話着信とファクス受信を切り替える機能です。電話機を接続した場合に設定します。

■ ｵﾝ : ファクスの場合は自動受信され、電話の場合は呼び出し音が鳴ります。

■ ｵﾌ : ファクスの場合は自動受信され、電話の場合は応答音だけ相手に返します。

ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲでの「ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ」は「ｵｰﾄ RX」に設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">5 ﾃﾞﾝﾜﾖﾋﾞﾀﾞｼｼﾞｶﾝ</td><td>設定</td><td>5 / 10 / 15 / 20 / 25 / 30 / 60 / 90 / 120 / 150 / 180 / 240</td></tr>
<tr><td colspan="2">電話の呼び出し時間 (秒) を設定します。「TEL/FAX ｷﾘｶｴ」が「ｵﾝ」の場合に設定が有効になります。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="2">6 ﾙｽﾊﾞﾝﾃﾞﾝﾜｾﾂｿﾞｸ</td><td>設定</td><td>ｵﾝ / ｵﾌ</td></tr>
<tr><td colspan="2">電話機の留守番電話機能を使う場合に設定します。

「ｵﾝ」に設定した場合、留守番電話応答中にファクス信号を検出するとファクス受信に切替えます。

ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲでの「ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ」は「ｵｰﾄ RX」に設定します。「TEL/FAX ｷﾘｶｴ」は「ｵﾌ」に設定してください。</td></tr>
</table>

ﾚﾎﾟｰﾄ ｾｯﾃｲ

1 ﾂｳｼﾝ ｶﾝﾘ ﾚﾎﾟｰﾄ	設定	**ｵﾝ** / ｵﾌ
	通信管理レポートを印刷するかどうかを設定します。「ｵﾝ」に設定すると、通信 60 件ごとに、印刷されます。 通信管理レポートで送受信の結果を確認できます。	
2 ｿｳｼﾝ ｹｯｶ ﾚﾎﾟｰﾄ	設定	ｵﾝ / **ｵﾝ（ｴﾗｰ）**/ ｵﾌ
	ファクス送信終了後に、自動的に送信結果レポートを印刷するかどうかを設定します。 ■ ｵﾝ：送信終了毎に印刷します。 ■ ｵﾝ（ｴﾗｰ）：エラーになった送信の場合にのみ印刷します。 ■ ｵﾌ：エラーになったときでも印刷しません。	
3 ｼﾞｭｼﾝ ｹｯｶ ﾚﾎﾟｰﾄ	設定	ｵﾝ / **ｵﾝ（ｴﾗｰ）**/ ｵﾌ
	ファクス受信終了後に、自動的に受信結果レポートを印刷するかどうかを設定します。 ■ ｵﾝ：受信終了毎に印刷します。 ■ ｵﾝ（ｴﾗｰ）：エラーになった受信の場合にのみ印刷します。 ■ ｵﾌ：エラーになったときでも印刷しません。	

ﾕｰｻﾞｰ ｾｯﾃｲ

1 ﾌｧｸｽ PTT ｾｯﾃｲ	設定	Japan / Korea / Malaysia / Mexico / Netherlands / New Zealand / Norway / Philippines / Poland / Portugal / Russia / Saudi Arabia / Singapore / Slovakia / South Africa / Spain / Sweden / Switzerland / Taiwan / Turkey / USA / UK / Vietnam / Argentina / Australia / Austria / Belgium / Brazil / Canada / China / Czech / Denmark / Europe / Finland / France / Germany / Greece / Hong Kong / Hungary / Israel / Italy
	本機を設置した国を設定します。	

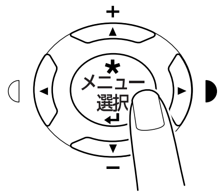
2 ﾆﾁｼﾞ ｾｯﾃｲ	設定	ｼﾞｶﾝﾉ ｾｯﾃｲ： 00 ～ 23 ﾌﾝ ﾉ ｾｯﾃｲ： 00 ～ 59 ﾈﾝ ﾉ ｾｯﾃｲ： 00 ～ 99 （2000 ～ 2099） ﾂｷ ﾉ ｾｯﾃｲ： 01 ～ 12 ﾋ ﾉ ｾｯﾃｲ： 01 ～ 31
	現在の日時をテンキーで入力します。 「ﾌｧｸｽ PTT ｾｯﾃｲ」が「USA」または「Canada」に設定されている場合は、サマータイムに合わせて自動的に変更されます。（開始日：4 月の第 1 日曜日午前 2 時、終了日：10 月の最終日曜日午前 2 時）	
3 ﾋﾂﾞｹ ﾉ ｹｲｼｷ	設定	**MM/DD/YY** / DD/MM/YY / YY/MM/DD
	レポートやリストの日時表示の形式を選択します。	
4 ｺﾃｲ ﾊﾞｲﾘﾂ	設定	ｲﾝﾁ / **ﾒﾄﾘｯｸ**
	ズーム倍率のプリセットで使用する単位系を、インチまたはミリメートルのいずれかに設定します。	
5 ﾌｧｸｽ ﾊﾞﾝｺﾞｳ	本機のファクス番号を入力します。数字、スペース、＋、- で 20 桁まで入力できます。 ここで設定したファクス番号が送信先の文書のヘッダに印刷されます。	
6 ﾊｯｼﾝ ﾓﾄ	発信元名を入力します。32 桁まで入力できます。 ここで設定した発信元名が送信先の文書のヘッダに印刷されます。	

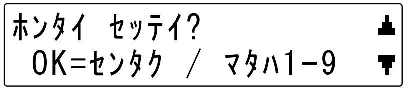
その他の設定メニューについては「プリンタ / コピー/ スキャナ　ユーザーズガイド」をごらんください。

設定メニューを設定する

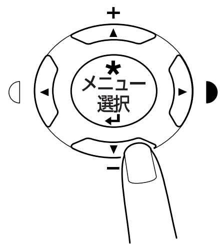
一般的な設定メニューの設定のしかた

1 ファクスモード画面が表示されている状態で、メニュー選択キーを押し、設定メニューを表示させます。



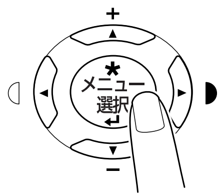


2 画面上段のメニュー名を確認し、▲または▼を押して目的のメニューを選択します。メニュー選択キーを押し、表示されているメニューの設定画面を表示させます。

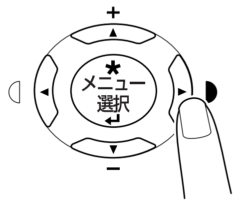


p. 29 メニューツリーを参照して、目的のメニューを探してください。

ツリーに表示されている番号をテンキーで押すことでも、目的のメニューを表示できます。
例：「ﾌﾞｻﾞｰ ｵﾝﾘｮｳ」を表示させるには、「ﾎﾝﾀｲ ｾｯﾃｲ」画面で 6 キーを押します。

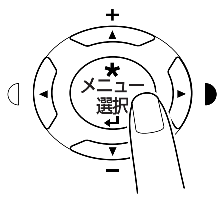


3 設定値が画面に表示されている場合、◀ キーまたは ▶ キーで「＊」マークを目的の設定値に移動させます。設定値の段に「 ▶ 」が表示されている場合、さらに設定値があることを示しています。
設定値の画面に「▲」「▼」が表示されている場合、▲キーまたは▼キーを押して、目的の設定値を表示させます。
設定値を入力する場合、キーパッドで数値を入力します。



4 メニュー選択キーを押します。設定が確定され、ファクスモード画面に戻ります。

> 設定をキャンセルしたいときは、キャンセル /C キーを押します。



メモリ受信モード（ﾒﾓﾘ ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ）

機密文書を受信することがある場合、受信文書をメモリに蓄積し、指定した時間に出力することができます。

メモリ受信モードは以下の設定で使用できます。

■ 開始／終了時間設定：なし

メモリ受信モードは常に「ｵﾝ」になります。メモリに保存されたファクスを印刷する場合は、メモリ受信モードを「ｵﾌ」にします。

■ 開始／終了時間設定：あり

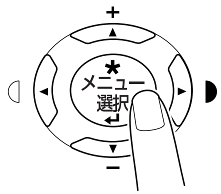
設定した時間にメモリ受信モードを開始／終了します。

例 1：開始時間 =18:00、終了時間 = 8:00 の場合
18:00 ～ 8:00 の間メモリ受信モードになり、8:00 ～ 18:00 は受信後印刷される通常の受信になります。
メモリに保存された文書は 8:00 に印刷されます。

例 2：開始時間 =12:00、終了時間 =12:00（開始時間と終了時間が同じ）場合
メモリ受信モードは常に ON になりますが、メモリに保存されたファクスが 12:00 に印刷されます。

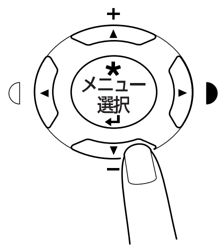
メモリ受信モードを設定する

1 ファクスモード画面が表示されている状態で、メニュー選択キーを押し、設定メニューを表示させます。

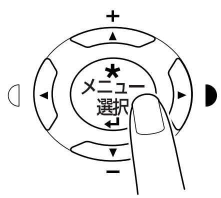


ﾎﾝﾀｲ ｾｯﾃｲ?
 OK=ｾﾝﾀｸ / ﾏﾀﾊ1-9

2 ▲キーまたは▼キーを押して、「ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ」画面を表示させ、メニュー選択キーを押します。

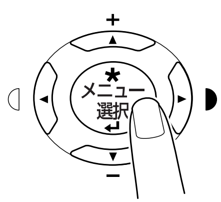


ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ?
 OK=ｾﾝﾀｸ / ﾏﾀﾊ1-7

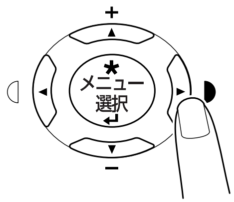


3 「ﾒﾓﾘ ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ」画面が表示されたのを確認して、メニュー選択キーを押します。

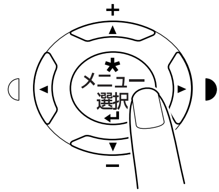
1 ﾒﾓﾘ ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ?
 OK=ｾﾝﾀｸ



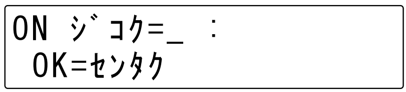
4 ◀ キーまたは ▶ キーを押して、「ｵﾝ」を選択し、メニュー選択キーを押します。





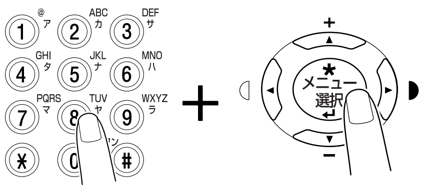


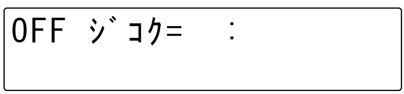
「ON ｼﾞｺｸ」画面が表示されます。



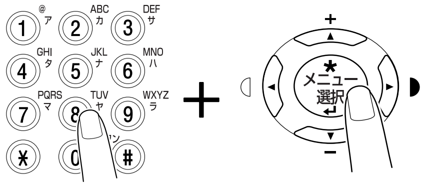
5 テンキーでメモリ受信モードを開始する時間を入力し、メニュー選択キーを押します。
The 「OFF ｼﾞｺｸ」画面が表示されます。

開始時間を設定しない場合は、時間を入力しないでメニュー選択キーを押します。
「ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ」画面が表示されます。手順 7 へ進みます。





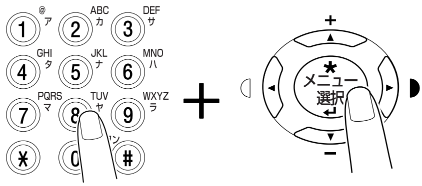
6 テンキーでメモリ受信モードを終了する時間を入力し、メニュー選択キーを押します。



「ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ」画面が表示されます。

```
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ=_
 OK=ｾﾝﾀｸ
```

7 テンキーでパスワードを入力し、メニュー選択キーを押します。
メモリ受信モードが設定されます。



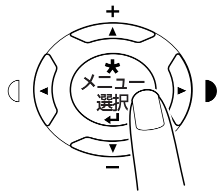

```
    *ﾒﾓﾘ ｼﾞｭｼﾝ ｵﾝ*
           <T><PWD>
```

パスワードは、メモリ受信モードを「ｵﾌ」にしたり、開始／終了時間を変更するときに必要になります。4 桁の数字を入力してください。

パスワードを設定しない場合は、パスワードを入力しないでメニュー選択キーを押します。

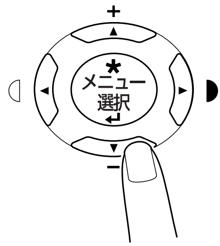
メモリ受信モードを解除する

1 ファクスモード画面が表示されている状態で、メニュー選択キーを押し、設定メニューを表示させせます。

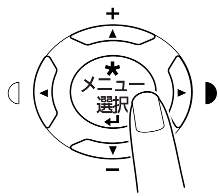



```
ﾎﾝﾀｲ ｾｯﾃｲ?
 OK=ｾﾝﾀｸ / ﾏﾀﾊ1-9
```

2 ▲キーまたは▼キーを押して、「ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ」画面を表示させ、メニュー選択キーを押します。

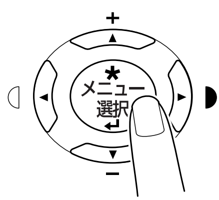



```
ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ?
 OK=ｾﾝﾀｸ / ﾏﾀﾊ1-7
```

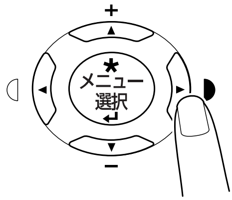


3 「ﾒﾓﾘ ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ」画面が表示されたのを確認して、メニュー選択キーを押します。

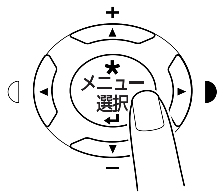
```
1 ﾒﾓﾘ ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ?
 OK=ｾﾝﾀｸ
```



4 ◀キーまたは▶キーを押して、「ｵﾌ」を選択し、メニュー選択キーを押します。




```
*ｵﾝ            ｵﾌ
 ◀,▶ & ｾﾝﾀｸ
```

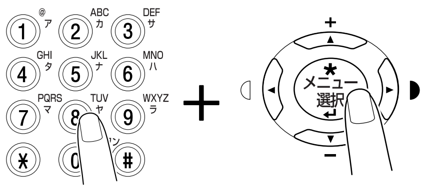


「ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ」画面が表示されます。

```
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ=_
 OK=ｾﾝﾀｸ
```

パスワードが設定されていない場合は、メモリ受信モードが解除されます。

5 テンキーでパスワードを入力し、メニュー選択キーを押します。
メモリ受信モードが解除されます。



メモリに保存されたファクスがある場合、印刷が開始されます。

ファクスを送信する 4

基本的な送信のしかた

ここでは基本的なファクス送信のしかたを説明しています。

ADF でファクスを送信する

ADF を使うと、自動的に複数のページの読込みができます。

- クリップやステープルなどでとじられた原稿は、絶対にセットしないでください。

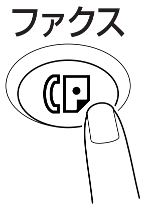
- 原稿は 50 枚または、マークを超えてセットしないでください。原稿づまりや原稿破損の原因となります。また、故障の原因となります。

- 原稿のセットが不完全な場合、原稿が斜め送りされ、原稿づまりや原稿破損の原因となります。

- 原稿が読み込まれている間は、ADF を開かないでください。

- 送信可能な用紙サイズは、A5、A4、レター、リーガルのみです。

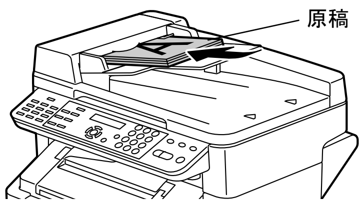
1 ファクスキーを押して、ファクスモード画面を表示させます。



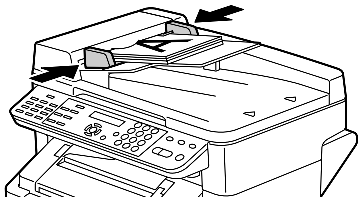

```
18:00      STD      100%
ｰｹﾞﾝｺｳ ｦ ｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲｰ
```

2 原稿ガラスに原稿が残っていないか確認します。

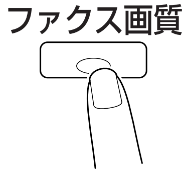
3 原稿の送信する面を上にして、原稿給紙トレイにセットします。



4 ガイド板を原稿のサイズに合わせます。



5 ファクス画質キーを押して目的の画質に設定します。



画質の設定のしかたについては、「解像度を調整する」（p.61）をごらんください。

```
*STD  FINE  S/F  H/T
 ◄, ► & センタク
```

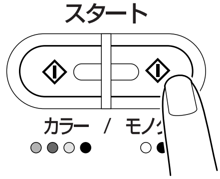
6 相手先のファクス番号を指定します。指定のしかたには、以下の方法があります。

– 直接入力する
– ワンタッチダイアルキーを使う（グループダイアルも含む）
– 短縮ダイアル番号を使う
– 検索機能（リスト／検索）を使う
– リダイアル / ポーズキーを使う

相手先の指定のしかたについては、「相手先を指定する」（p.62）をごらんください。リダイアル / ポーズキーの使い方については、「リダイアル機能を使用して送信する」（p.74）

複数の相手先への送信は、同報送信機能でも送信できます。同報送信機能について詳しくは、「複数の相手先に送信する（同報送信）」（p.76）をごらんください。

7 スタートキーを押します。
原稿が読み込まれ、ファクス送信されます。



送信を中止する場合は、ストップ / リセットキーを押します。送信キャンセルの確認のメッセージが表示されたら、「YES」が選択されていることを確認して、メニュー選択キーを押します。

相手先が通信中などでファクス送信ができなかった場合は、オートリダイアル機能が再送信を試みます。オートリダイアル機能でも送信できなかった場合は、送信結果レポートが印刷されます。送信結果レポートについては、「ｿｳｼﾝ ｹｯｶ ﾚﾎﾟｰﾄ」（p.132）をごらんください。

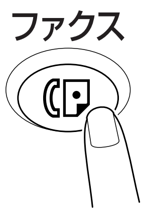
読み込んでメモリに蓄積された送信待ちデータまたはリダイアル待ちのデータを削除したい場合は、機能メニューの「ﾖﾔｸ ｷｬﾝｾﾙ」機能で削除できます。詳しくは、「メモリに蓄積された送信文書を削除する」（p.86）をごらんください。

複数ページの原稿は、メモリに読み込んでから送信するため、読み込みは高速で行われます。最大 512 ページをメモリに読み込むことができます。（高解像度の設定のときは、512 ページまで読み込みできない場合があります。）メモリ残量が少なくなると、原稿の読み込みが中断され、その送信ジョブをキャンセルするか、その時点で送信を始めるか選択する画面が表示されます。ジョブのキャンセルを選択すると、そのジョブでこれまで読み込んだ原稿分が削除されます。送信を選択すると、原稿の読み込みは中断され、送信が始まります。読み込んだ分の送信が完了すると、原稿の読み込みが再開されます。

原稿ガラスでファクスを送信する

送信可能な用紙サイズは、A5、A4 のみです。

1 ファクスキーを押して、ファクスモード画面を表示させます。

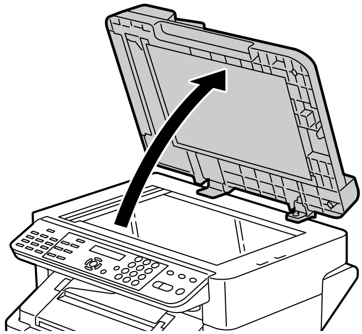



```
18:00      STD      100%
ｰｹﾞﾝｺｳ ｦ ｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲｰ
```

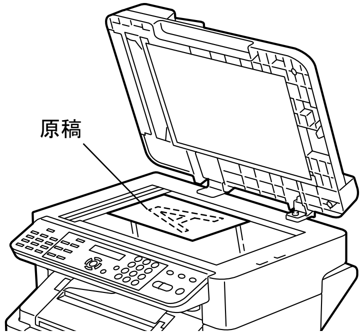
2 ADF に原稿が残っていないか確認します。

原稿ガラスを使って読み込みするときは、ADF に原稿をセットしないでください。

3 ADF を開きます。

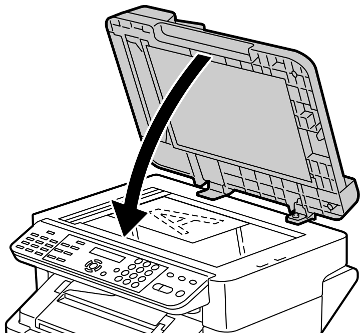


4 送信する面を下にして原稿を原稿ガラス上に置き、原稿スケールに沿うように合わせます。



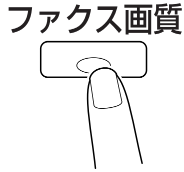
5 ADF を静かに閉じます。

ADF をすばやく閉じると、原稿ガラス上の原稿が動いてしまうことがあります。



6 ファクス画質キーを押して目的の画質に設定します。

画質の設定のしかたについては、「解像度を調整する」（p.61）をごらんください。





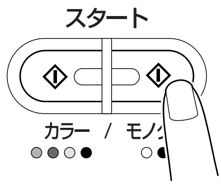
7 ファクスモード画面（ｹﾞﾝｺｳ ｦ ｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ）が表示されていることを確認し、相手先のファクス番号を指定します。指定のしかたには、以下の方法があります。

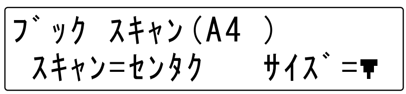
– 直接入力する
– ワンタッチダイアルキーを使う（グループダイアルも含む）
– 短縮ダイアル番号を使う
– 検索機能（リスト／検索）を使う
– リダイアル / ポーズキーを使う

相手先の指定のしかたについては、「相手先を指定する」（p.62）をごらんください。リダイアル / ポーズキーの使い方については、「リダイアル機能を使用して送信する」（p.74）

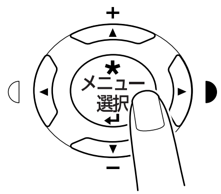
複数の相手先への送信は、同報送信機能でも送信できます。同報送信機能について詳しくは、「複数の相手先に送信する（同報送信）」（p.76）をごらんください。

8 スタートキーを押します。
スキャン領域を確認する画面が表示されます。





9 表示されているスキャン領域でスキャンする場合は、メニュー選択キーを押します。原稿が読み込まれます。

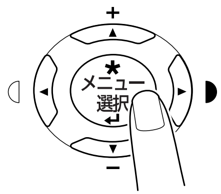


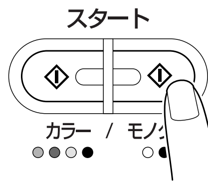

```
*ﾖﾐﾄﾘﾁｭｳ            99%
1234567890          1
```

表示されているスキャン領域を変更する場合は、▼キーを押し、次に表示される画面で、目的のスキャン領域を選択し、メニュー選択キーを押します。メニュー選択キーをもう一度押すと、原稿が読み込まれます。

10 複数ページを読み込む場合は、「ﾂｷﾞ ﾉ ﾍﾟｰｼﾞ ?」というメッセージが表示されたら、原稿を差し替え、メニュー選択キーを押します。
原稿の読み込みが終了した場合は、スタートキーを押します。

```
ﾂｷﾞ ﾉ ﾍﾟｰｼﾞ?(A4 )  1
 ｽｷｬﾝ=ｾﾝﾀｸ ｿｳｼﾝ=ｽﾀｰﾄ
```





送信を中止する場合は、ストップ / リセットキーを押します。送信キャンセルの確認のメッセージが表示されたら、「YES」が選択されていることを確認して、メニュー選択キーを押します。

相手先が通信中などでファクス送信ができなかった場合は、オートリダイアル機能が再送信を試みます。オートリダイアル機能でも送信できなかった場合は、送信結果レポートが印刷されます。送信結果レポートについては、「ｿｳｼﾝ ｹｯｶ ﾚﾎﾟｰﾄ」（p.132）をごらんください。

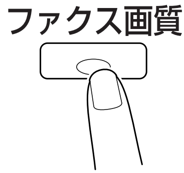
読み込んでメモリに蓄積された送信待ちデータまたはリダイアル待ちのデータを削除したい場合は、機能メニューの「ﾖﾔｸ ｷｬﾝｾﾙ」機能で削除できます。詳しくは、「メモリに蓄積された送信文書を削除する」（p.86）をごらんください。

複数ページの原稿は、メモリに読み込んでから送信するため、読み込みは高速で行われます。最大 512 ページをメモリに読み込むことができます。（高解像度の設定のときは、512 ページまで読み込みできない場合があります。）メモリ残量が少なくなると、原稿の読み込みが中断され、その送信ジョブをキャンセルするか、その時点で送信を始めるか選択する画面が表示されます。ジョブのキャンセルを選択すると、そのジョブでこれまで読み込んだ原稿分が削除されます。送信を選択すると、原稿の読み込みは中断され、送信が始まります。読み込んだ分の送信が完了すると、原稿の読み込みが再開されます。

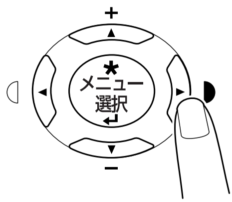
解像度を調整する

ファクス送信する前に、原稿の画質を調整できます。

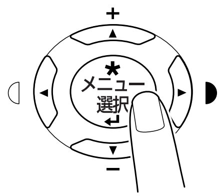
1 ファクス画質を押します。



2 ◀ または ▶ を使用して、ファクスの解像度を選択し、メニュー選択キーを押します。







原稿に合った解像度を選択してください。

- STD：手書きなどを含む通常の原稿の場合に設定します。（標準）
- FINE：小さい文字を含む原稿の場合に設定します。（ファイン）
- S/F：新聞などの小さい文字を含む原稿や精密図の場合に設定します。（スーパーファイン：高精細）
- H/T：写真などの濃淡のある原稿の場合に設定します。（ハーフトーン）
「H/T」を選択した場合は、「STD」、「FINE」、「S/F」を選択する画面が表示されます。

ここで設定したファクス画質は、通常の送信では、原稿スキャン後に、手動送信では、送信後にデフォルトに戻ります。よく使用するファクス画質をデフォルトにしておくと便利です。詳しくは、「ｿｳｼﾝ ｾｯﾃｲ」（p. 38）をごらんください。

相手先を指定する

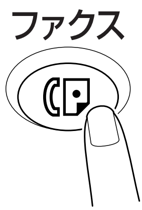
相手先の指定のしかたには、以下の方法があります。

- 直接入力する : テンキーで直接ファクス番号を入力します。
- ワンタッチダイアルキーを使う : ワンタッチダイアルキーに登録された相手先を呼び出します。
- 短縮ダイアル番号を使う : 短縮ダイアル番号に登録された相手先を呼び出します。
- 検索機能（リスト／検索）を使う : ワンタッチダイアルや短縮ダイアルに登録された相手先を検索し、指定します。
- リダイアル / ポーズキーを使う : 最後にダイアルをした相手先を指定します。

ファクス番号を直接入力して送信する

テンキーを使ってファクス番号を入力します。

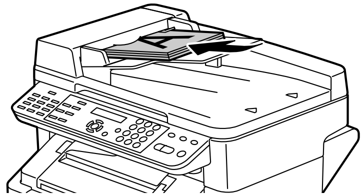
1 ファクスキーを押して、ファクスモード画面を表示させます。

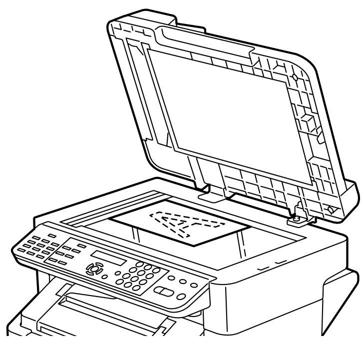




2 原稿をセットします。

ADF への原稿セットのしかたは「ADF でファクスを送信する」（p.54）を、原稿ガラスへの原稿のセットのしかたは「原稿ガラスでファクスを送信する」（p.56）をごらんください。

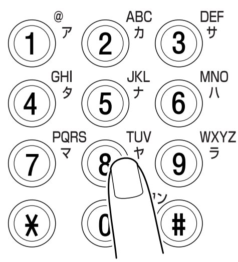




3 ファクス画質キーを押して目的の画質に設定します。

画質の設定のしかたについては、「解像度を調整する」（p.61）をごらんください。

4 テンキーを使って、相手先のファクス番号を入力します。

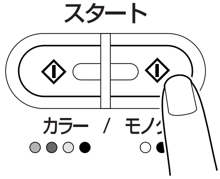


ファクス番号入力時に使用できるキーは、番号キー（0 ～ 9）、＊キー、# キーです。
ファクス番号入力時にリダイアル / ポーズキーを押すと、2.5 秒のポーズが挿入されます。ポーズはメッセージウィンドウで「P」と表示されます。

本機が PBX 回線に接続されている場合は、外線接続番号を「ﾂｳｼﾝｾｯﾃｲ」で設定できます。（p. 41）# キーを押すと、自動的に外線へ接続します。

入力したファクス番号を消去するには、キャンセル /C キーを 1 秒程度長押しをするか、ストップ / リセットキーを押します。

5 スタートキーを押します。
原稿が読み込まれ、ファクス送信されます。



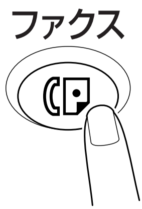
送信を中止する場合は、ストップ / リセットキーを押します。送信キャンセルの確認のメッセージが表示されたら、「YES」が選択されていることを確認して、メニュー選択キーを押します。

ワンタッチダイアルキーを使って送信する

よく使うファクス番号を、ワンタッチダイアルキーに登録します。ファクス番号の手入力をしないため、簡単に呼び出せ、正確に相手先を指定できます。

相手先は、前もってワンタッチダイアルキーに登録されている必要があります。詳しくは、「ワンタッチダイアルを登録する」（p.105）を参照ください。

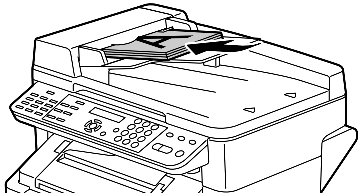
1 ファクスキーを押して、ファクスモード画面を表示させます。

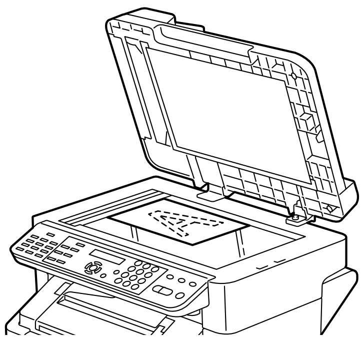




2 原稿をセットします。

ADF への原稿セットのしかたは「ADF でファクスを送信する」（p.54）を、原稿ガラスへの原稿のセットのしかたは「原稿ガラスでファクスを送信する」（p.56）をごらんください。

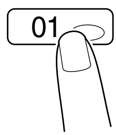


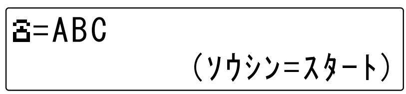


3 ファクス画質キーを押して目的の画質に設定します。

画質の設定のしかたについては、「解像度を調整する」（p.61）をごらんください。

4 目的のワンタッチダイアルキーを押します。
相手先の名前がメッセージウィンドウに表示されます。



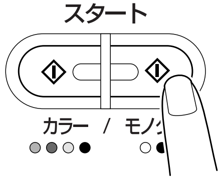


複数相手先を指定したい場合は、グループダイアルが登録されたワンタッチダイアルキーを押すか、同報送信を指定します。

入力を間違えた場合には、◀ または ▶ キーで間違えた場所まで移動し、キャンセル /C キーを押します。

ファクス番号が登録されていないワンタッチダイアルキーを押した場合、「ﾌｧｸｽﾊﾞﾝｺﾞｳﾃﾞ ﾊｱﾘﾏｾﾝ」というメッセージが表示されます。また、何も登録されていないワンタッチダイアルキーを押した場合、「ﾄｳﾛｸ ｻﾚﾃｲﾏｾﾝ」というメッセージが表示されます。ファクス番号が登録されているワンタッチダイアルキーを押してください。

5 スタートキーを押します。
原稿が読み込まれ、ファクス送信されます。



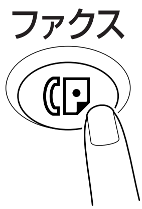
送信を中止する場合は、ストップ / リセットキーを押します。送信キャンセルの確認のメッセージが表示されたら、「YES」が選択されていることを確認して、メニュー選択キーを押します。

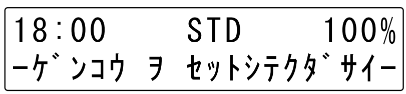
短縮ダイアル番号を使って送信する

よく使うファクス番号を、短縮ダイアルに登録します。ファクス番号の手入力をしないため、簡単に呼び出せ、正確に相手先を指定できます。

相手先は、前もって短縮ダイアルに登録されている必要があります。詳しくは、「短縮ダイアルを登録する」（p.111）を参照ください。

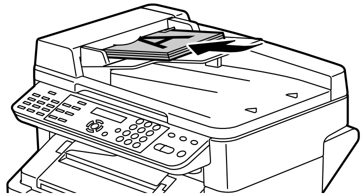
1 ファクスキーを押して、ファクスモード画面を表示させます。

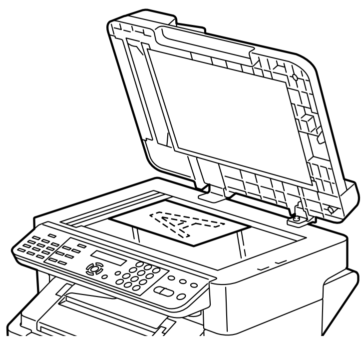




2 原稿をセットします。

ADF への原稿セットのしかたは「ADF でファクスを送信する」（p.54）を、原稿ガラスへの原稿のセットのしかたは「原稿ガラスでファクスを送信する」（p.56）をごらんください。

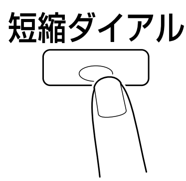


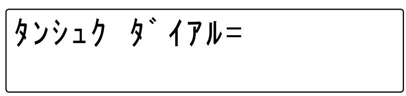


3 ファクス画質キーを押して目的の画質に設定します。

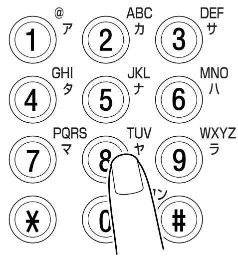
画質の設定のしかたについては、「解像度を調整する」（p.61）をごらんください。

4 短縮ダイアルキーを押します。



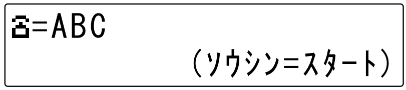


5 テンキーで、目的の短縮ダイアル番号（3 桁）を押します。
相手先の名前がメッセージウィンドウに表示されます。



入力を間違えた場合には、キャンセル /C キーを押します。

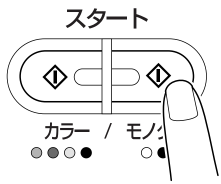
ファクス番号が登録されていない短縮ダイアル番号を入力した場合、「ﾌｧｸｽﾊﾞﾝｺﾞｳﾃﾞﾊｱﾘﾏｾﾝ」というメッセージが表示されます。



また、何も登録されていない短縮ダイアル番号を入力した場合、「ﾄｳﾛｸ ｻﾚﾃｲﾏｾﾝ」というメッセージが表示されます。ファクス番号が登録されている短縮ダイアル番号を入力してください。

2 桁のスピードダイアル番号を入力する場合は、最初に「0」を入力してください。例：スピードダイアル番号が「11」の場合、「011」と入力してください。

6 スタートキーを押します。
原稿が読み込まれ、ファクス送信されます。



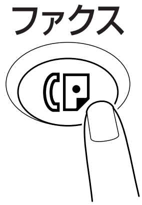
送信を中止する場合は、ストップ / リセットキーを押します。送信キャンセルの確認のメッセージが表示されたら、「YES」が選択されていることを確認して、メニュー選択キーを押します。

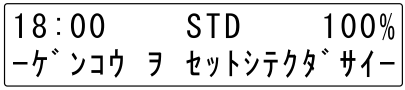
リスト機能で検索して送信する

ワンタッチダイアルまたは短縮ダイアルに登録された相手先は、リスト機能や検索機能で検索できます。

リスト機能を使用した検索のしかたは、以下のとおりです。

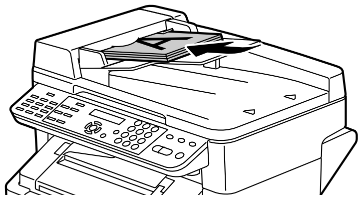
1 ファクスキーを押して、ファクスモード画面を表示させます。

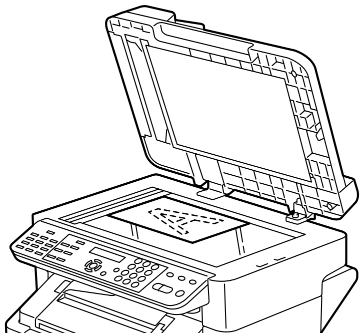




2 原稿をセットします。

ADF への原稿セットのしかたは「ADF でファクスを送信する」（p.54）を、原稿ガラスへの原稿のセットのしかたは「原稿ガラスでファクスを送信する」（p.56）をごらんください。

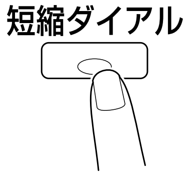




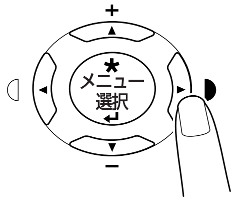
3 ファクス画質キーを押して目的の画質に設定します。

画質の設定のしかたについては、「解像度を調整する」（p.61）をごらんください。

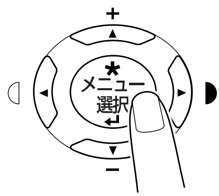
4 短縮ダイアルを 2 回押します。



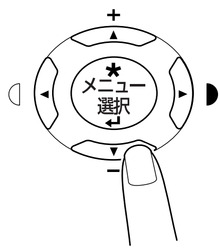
5 ◀ または ▶ を使用して、「ﾘｽﾄ」を選択し、メニュー選択キーを押します。
ワンタッチダイアルおよび短縮ダイアルに登録された相手先のリストが表示されます。



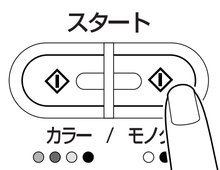




6 ▲または▼キーで目的の相手先を選択します。



7 スタートキーを押します。
原稿が読み込まれ、ファクス送信されます。



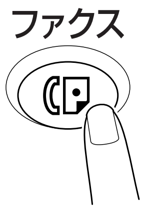
送信を中止する場合は、ストップ / リセットキーを押します。送信キャンセルの確認のメッセージが表示されたら、「YES」が選択されていることを確認して、メニュー選択キーを押します。

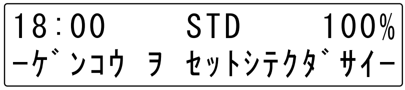
検索機能で検索して送信する

ワンタッチダイアルまたは短縮ダイアルに登録された相手先は、リスト機能や検索機能で検索できます。

検索機能を使用した検索のしかたは、以下のとおりです。

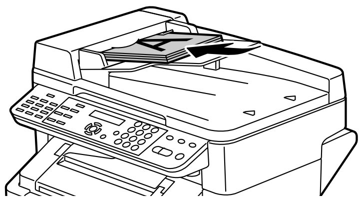
1 ファクスキーを押して、ファクスモード画面を表示させます。

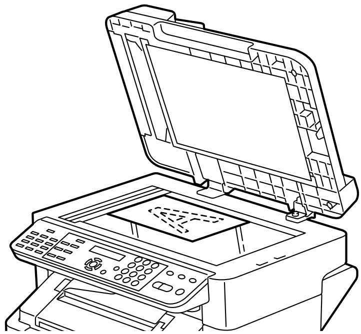




2 原稿をセットします。

ADF への原稿セットのしかたは「ADF でファクスを送信する」（p.54）を、原稿ガラスへの原稿のセットのしかたは「原稿ガラスでファクスを送信する」（p.56）をごらんください。

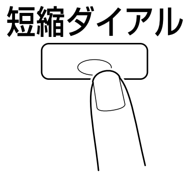




3 ファクス画質キーを押して目的の画質に設定します。

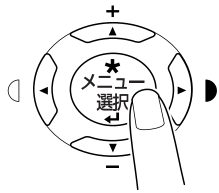
画質の設定のしかたについては、「解像度を調整する」（p.61）をごらんください。

4 短縮ダイアルを 2 回押します。



5 ◀ または ▶ を使用して、「ｹﾝｻｸ」を選択し、メニュー選択キーを押します。
検索文字を入力する画面が表示されます。

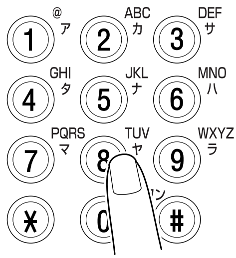


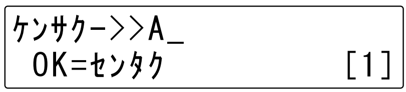


6 テンキーで、検索したい相手先の名前の一部を入力します。

ワンタッチダイアルまたは短縮ダイアル番号に登録している名前を入力してください。文字の入力については、「入力のしかた」（p.143）をごらんください。

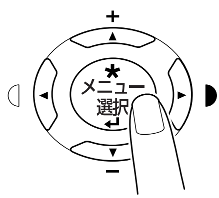
10 文字を検索文字として入力できます。





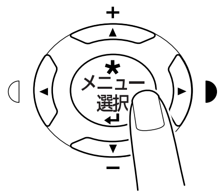
7 メニュー選択キーを押します。
手順 6 で入力した検索文字に該当する相手先が表示されます。

該当する名前が検索されなかった場合は、「(0)」が表示されたあと、検索文字入力画面が表示されます。



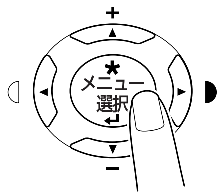


8 検索結果から相手先を選択する場合は、手順 10 へ進みます。

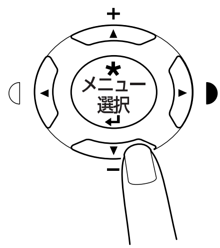


検索結果をさらに絞り込んで検索する場合は、メニュー選択キーを押し、検索文字を入力します。

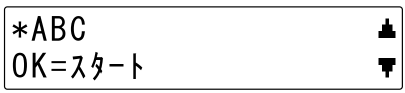
9 メニュー選択キーを押します。



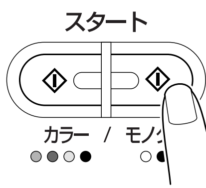
10 ▲または▼キーで目的の相手先を選択します。



目的の相手先名が検索結果に表示されなかった場合、キャンセル /C キーを 2 回押し、検索文字入力画面に戻ります。別の検索文字を入力してみてください。



11 スタートキーを押します。
原稿が読み込まれ、ファクス送信されます。

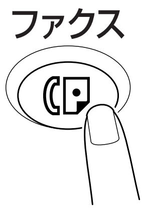


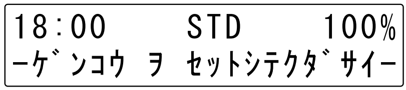
送信を中止する場合は、ストップ / リセットキーを押します。送信キャンセルの確認のメッセージが表示されたら、「YES」が選択されていることを確認して、メニュー選択キーを押します。

リダイアル機能を使用して送信する

最後に送信したファクス番号で送信するには、リダイアル / ポーズキーを押してファクス番号を呼び出せます。

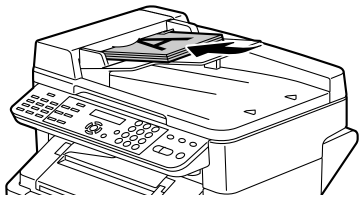
1 ファクスキーを押して、ファクスモード画面を表示させます。

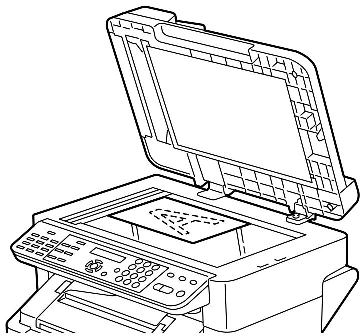




2 原稿をセットします。

ADF への原稿セットのしかたは「ADF でファクスを送信する」(p.54) を、原稿ガラスへの原稿のセットのしかたは「原稿ガラスでファクスを送信する」(p.56) をごらんください。





3 ファクス画質キーを押して目的の画質に設定します。

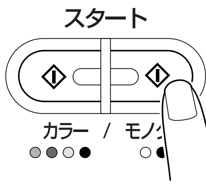
画質の設定のしかたについては、「解像度を調整する」(p.61) をごらんください。

4 リダイアル / ポーズキーを押し、目的のファクス番号が表示されたか確認します。





5 スタートキーを押します。原稿が読み込まれ、ファクス送信されます。



送信を中止する場合は、ストップ / リセットキーを押します。送信キャンセルの確認のメッセージが表示されたら、「YES」が選択されていることを確認して、メニュー選択キーを押します。

複数の相手先を指定する

1 回のファクス送信で複数の相手先に送信することができます。複数の相手先に送信する方法は 2 種類あります。

■ グループダイアル機能を使う

■ 同報送信機能を使う

グループダイアル機能での相手先の指定のしかたは、「ワンタッチダイアルキーを使って送信する」（p.64）をごらんください。

同報送信機能での送信のしかたは、以下をごらんください。

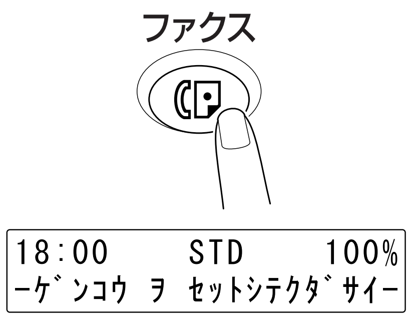
複数の相手先に送信する（同報送信）

複数の相手先を直接入力、ワンタッチダイアルキー、短縮ダイアル番号、検索機能から指定できます。

1 度に最大 125 件の相手先を選択できます。相手先をワンタッチダイアルキーで指定した場合は最大 9 件、短縮ダイアルでは最大 100 件、直接入力では最大 16 件指定できます。

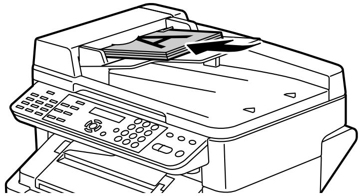
送信結果レポートで、すべての相手先に送信されたかを確認できます。送信結果レポートについては、「送信／受信結果をディスプレイで確認する」（p.130）または「レポートとリストについて」（p.131）をごらんください。

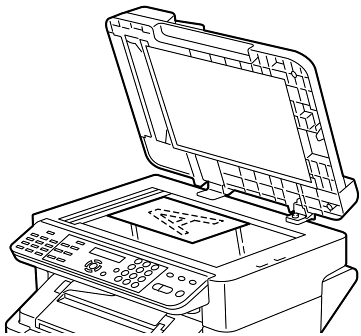
1 ファクスキーを押して、ファクスモード画面を表示させます。



2 原稿をセットします。

ADF への原稿のセットのしかたは「ADF でファクスを送信する」（p.54）を、原稿ガラスへの原稿のセットのしかたは「原稿ガラスでファクスを送信する」（p.56）をごらんください。

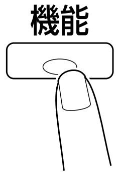




3 ファクス画質キーを押して目的の画質に設定します。

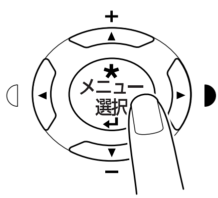
画質の設定のしかたについては、「解像度を調整する」（p.61）をごらんください。

4 機能キーを押します。



5「ｼﾞｭﾝｼﾞ ﾄﾞｳﾎｳ」画面が表示されていることを確認し、メニュー選択キーを押します。





6 下記の方法で相手先を指定し、目的の相手先をすべて指定するまで繰り返します。

```
No.001=ABC
 OK=センタク   カンリョウ=スタート
```

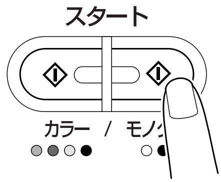
– 直接入力する：テンキーでファクス番号を直接入力します。メニュー選択キーを押して、次の相手先を指定します。

– ワンタッチダイアルキーを使う（グループダイアルを含む）：目的のファクス番号が登録されているワンタッチダイアルキーを押します。メニュー選択キーを押して、次の相手先を指定します。

– 短縮ダイアルを使う：短縮ダイアルキーを押し、テンキーで目的の短縮ダイアル番号（3 桁）を入力します。メニュー選択キーを押して、次の相手先を指定します。

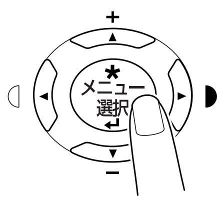
– 検索機能（リスト／検索）を使う：短縮ダイアルキーを 2 回押し、リスト機能または検索機能から目的の相手先を検索します。（詳しくは、「リスト機能で検索して送信する」（p.69）または「検索機能で検索して送信する」（p.71）をごらんください。）メニュー選択キーを押して、次の相手先を指定します。

7 スタートキーを押します。
相手先を確認するかどうかのメッセージが表示されます。




```
アイテサキ ヲ カクニンシマスカ?
 OK=センタク     ソウシン=スタート
```

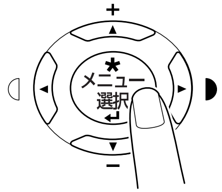
8 相手先を確認する場合は、メニュー選択キーを押します。
手順 6 で指定した相手先が表示されます。



相手先を確認しない場合は、手順 11 へ進みます。

9 最初に表示された相手先を確認したら、メニュー選択キーを押します。次の相手先が表示されます。

```
No.001=ABC
 OK=センタク      ケス=キャンセル
```





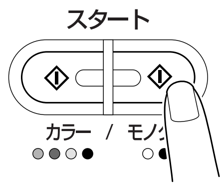
表示されている相手先を削除したい場合は、キャンセル /C キーを押します。

相手先確認画面に表示される相手先は、指定した順番に表示されます。

10 すべての相手先を確認したら、「ｶﾝﾘｮｳ = ｽﾀｰﾄ」が表示されます。

```
No.004=_
 カンリョウ=スタート          [1]
```

11 スタートキーを押します。
原稿が読み込まれ、ファクス送信されます。



送信を中止する場合は、ストップ / リセットキーを押します。送信キャンセルの確認のメッセージが表示されたら、「YES」が選択されていることを確認して、メニュー選択キーを押します。送信を中止すると、指定した相手先がすべてクリアされます。

送信中、「ｹﾞﾝｺｳ ｦ ｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ」というメッセージが表示されますが、原稿は 1 度読み込ませるだけで、設定したすべての送信先に送信されます。

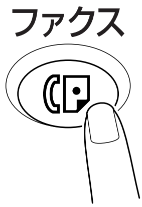
指定した時間にファクスを送信する（時刻指定送信）

原稿をメモリに読み込ませ、指定した時間に送信できます。深夜や早朝などの電話料金割引時間を利用して通信できるため経済的です。

時刻指定送信をするには、本機の時刻設定をしてください。詳しくは、「ﾕｰｻﾞｰ ｾｯﾃｲ」（p. 43）をごらんください。

時刻指定送信は、同報送信機能を併用できます。

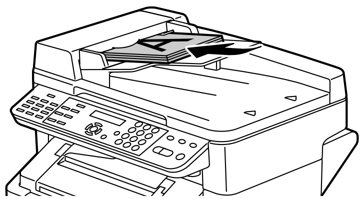
1 ファクスキーを押して、ファクスモード画面を表示させます。

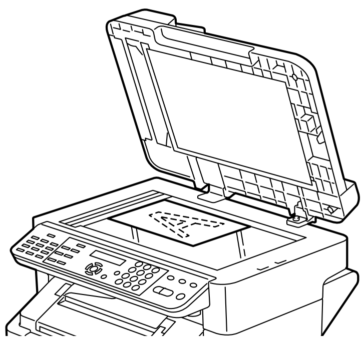



```
18:00      STD      100%
-ｹﾞﾝｺｳ ｦ ｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ-
```

2 原稿をセットします。

ADF への原稿のセットのしかたは「ADF でファクスを送信する」（p.54）を、原稿ガラスへの原稿のセットのしかたは「原稿ガラスでファクスを送信する」（p.56）をごらんください。

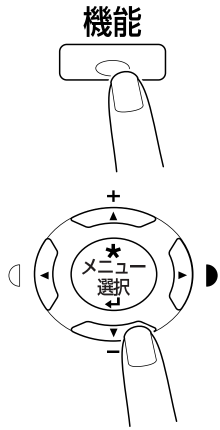




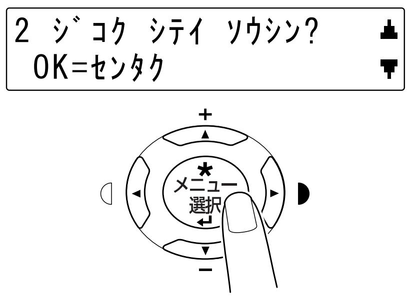
3 ファクス画質キーを押して目的の画質に設定します。

画質の設定のしかたについては、「解像度を調整する」（p.61）をごらんください。

4 機能キーを押し、▼キーを押します。



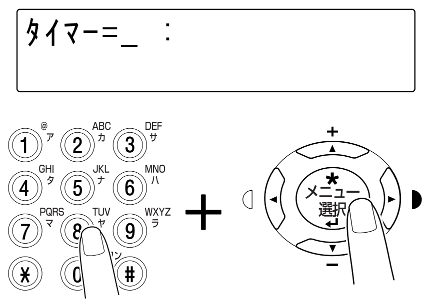
5 「ｼﾞｺｸ ｼﾃｲ ｿｳｼﾝ」画面が表示されていることを確認し、メニュー選択キーを押します。



6 テンキーで送信時間を設定し、メニュー選択を押します。

24 時間形式で入力してください。

入力した時間を修正するときは、キャンセル /C キーを押します。



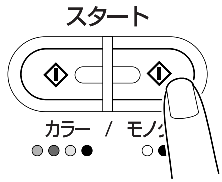
7 相手先を指定します。

☎=ﾌｧｸｽﾊﾞﾝｺﾞｳｦ ﾆｭｳﾘｮｸ
ﾏﾀﾊ ｷﾉｳｾﾝﾀｸ [1]

詳しくは、「相手先を指定する」（p.62）をごらんください。

同報送信機能を使用して複数の相手先に送信したい場合は、機能キーを押すと、「ｼﾞｭﾝｼﾞ ﾄﾞｳﾎｳ」画面が表示されます。すべての相手先の入力を完了後、スタートキーを押すと、読み込みが開始さます。読込みが完了後、本機は待機状態になります。同報送信機能については、「複数の相手先に送信する（同報送信）」（p.76）をごらんください。

8 スタートキーを押します。
読込みが開始され、待機状態になります。
待機状態中は画面に T が表示されます。



15:14 STD T 99%
-ｹﾞﾝｺｳ ｦ ｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ-

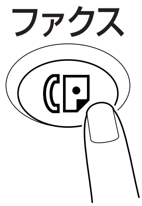
時刻指定送信をキャンセルしたい場合は、機能メニューから「ﾖﾔｸ ｷｬﾝｾﾙ」を選択します。詳しくは、「メモリに蓄積された送信文書を削除する」（p.86）をごらんください。

ファクスを手動送信する

電話を使用後ファクスを手動送信する

本機に外付け電話機を接続して、電話とファクスの両方で 1 つの回線を使うときに、電話が終了後、ファクス送信をすることができます。相手先にファクス送信をすることを告げてから送信でき、便利です。

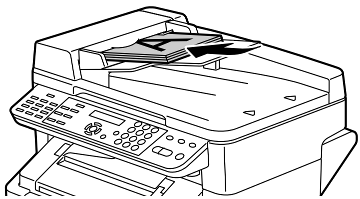
1 ファクスキーを押して、ファクスモード画面を表示させます。





2 ADF に原稿をセットします。

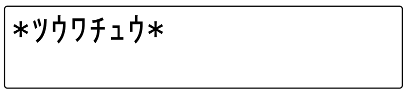
ファクスを手動送信する場合は、原稿を ADF にのみセットしてください。原稿ガラスにセットして送信するとエラーになります。



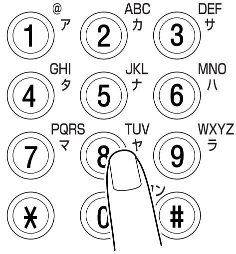
3 ファクス画質キーを押して目的の画質に設定します。

画質の設定のしかたについては、「解像度を調整する」（p.61）をごらんください。

4 受話器を上げて、発信音 " ツー " が 聞こえることを確認します。



5 相手先のファクス番号を外付け電話機からダイアルします。



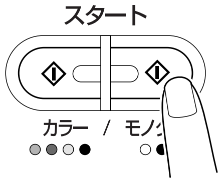
- ファクス番号は操作パネルのテンキーでも指定できます。

- 回線の種類にパルスが設定されている場合は、＊キーを押して一時的にトーンに切り替えます。

6 電話での会話の後、相手側でファクス受信をするキーを押します。相手先のファクスの準備が完了したら、警告音が鳴ります。

7 スタートキーを押します。原稿が読み込まれ、ファクス送信されます。



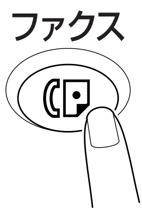


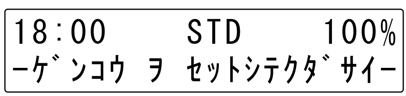
8 受話器を置きます。

- 送信を中止する場合は、ストップ / リセットキーを押します。送信キャンセルの確認のメッセージが表示されたら、「YES」が選択されていることを確認して、メニュー選択キーを押します。

オンフックキーを使用してファクスを手動送信する

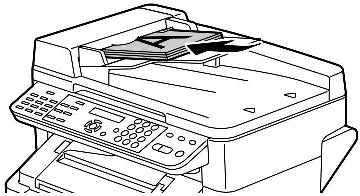
1 ファクスキーを押して、ファクスモード画面を表示させます。





2 ADF に原稿をセットします。

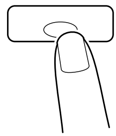
ファクスを手動送信する場合は、原稿を ADF にのみセットしてください。原稿ガラスにセットして送信するとエラーになります。



3 ファクス画質キーを押して目的の画質に設定します。

画質の設定のしかたについては、「解像度を調整する」（p.61）をごらんください。

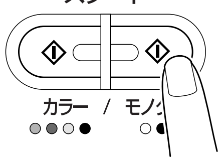
4 オンフックキーを押します。



5 相手先のファクス番号を指定します。

回線の種類にパルスが設定されている場合は、＊キーを押して一時的にトーンに切り替えます。

6 スタートキーを押します。
原稿が読み込まれ、ファクス送信されます。

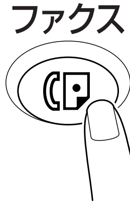


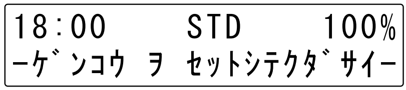
送信を中止する場合は、ストップ / リセットキーを押します。送信キャンセルの確認のメッセージが表示されたら、「YES」が選択されていることを確認して、メニュー選択キーを押します。

メモリに蓄積された送信文書を削除する

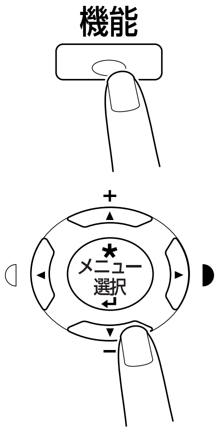
タイマー送信待ちなど、読み込んだ原稿は、メモリに蓄積されます。メモリに蓄積されている文書を特定して削除できます。

1 ファクスキーを押して、ファクスモード画面を表示させます。

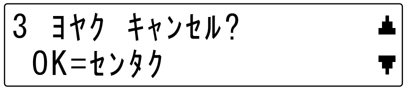


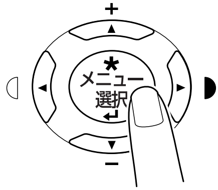


2 機能キーを押して▼キーを２回押します。



3 「ﾖﾔｸ ｷｬﾝｾﾙ」画面が表示されていることを確認して、メニュー選択キーを押します。
蓄積されているジョブが表示されます。

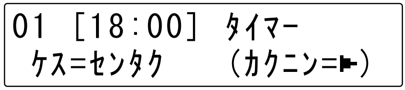




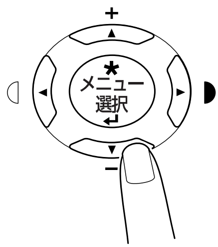
メモリにジョブが無ければ、「ﾖﾔｸ ﾊ ｱﾘﾏｾﾝ」が表示されます。

以下のジョブのタイプが表示されます。

- ﾒﾓﾘｿｳｼﾝ : 通常送信（待機中）
- ﾄﾞｳﾎｳ : 同報送信
- ﾀｲﾏｰ : 時刻指定送信
- ｽｷｬﾝ : メール送信（スキャン文書）

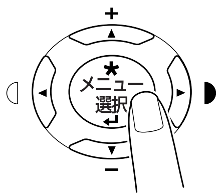


4 ▲または▼キーを使って、削除したいジョブを選択します。



表示されているジョブの相手先を確認したい場合は、▶ キーを押します。
確認後はメニュー選択キーを押して前の画面に戻ります。

5 メニュー選択キーを押して、表示されているジョブを削除します。

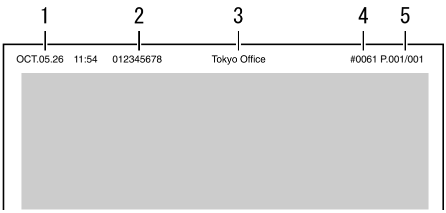




6 他のジョブの削除したい場合は、手順３～５を繰り返します。

ファクスヘッダについて

設定メニューの「ﾍｯﾀﾞ」が「ｵﾝ」になっていると、相手先がファクス受信をしたときに発信元情報（送信者名、ファクス番号、送信日時、セッション番号、ページ番号）が印字されます。



No.	項目	説明
1	送信日時	ファクスが送信された日時が表示されます。時刻は 24 時間形式で表示されます。
2	ファクス番号	ファクス番号が表示されます。
3	送信者名	送信者の名前が表示されます。
4	セッション番号	ファクスを送信するセッション番号が表示されます。
5	ページ番号	ページ番号が、「ページ番号／総ページ数」で表示されます。 外付け電話機やオンフックキーを使った送信では総ページ数は表示されません。

ヘッダを印字するには、設定メニューの「ﾕｰｻﾞｰ ｾｯﾃｲ」の「ﾊｯｼﾝ ﾓﾄ」発信元設定をしたうえで、「ｿｳｼﾝ ｾｯﾃｲ」の「ﾍｯﾀﾞ」の設定を「ｵﾝ」にしてください。詳しくは、「ｿｳｼﾝ ｾｯﾃｲ」（p. 38）をごらんください。

5 ファクスを受信する

はじめに

本機の電源を OFF にすると、ファクスを受信することができません。必ず電源を ON のままにしておいてください。

受信したファクスの印刷には A4/ レター / リーガルサイズの用紙のみ対応しています。トレイ 1 もしくはトレイ 2 に必ず A4/ レター / リーガル（トレイ 1 のみ対応）サイズの用紙をセットしてください。

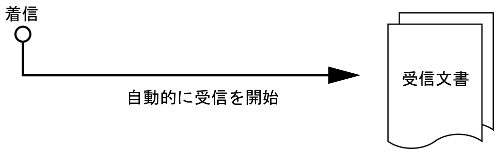
ファクス受信方法を設定する場合、設定メニューの以下の項目について設定を確認する必要があります。以下は設定メニューの項目とその初期値です。

- [ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ] ― [ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ]：ｵｰﾄ RX
- [ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ] ― [ﾖﾋﾞﾀﾞｼｶｲｽｳ]：2 回
- [ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ] ― [TEL/FAX ｷﾘｶｴ]：ｵﾝ
- [ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ] ― [ﾃﾞﾝﾜﾖﾋﾞﾀﾞｼｼﾞｶﾝ]：20 秒
- [ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ] ― [ﾙｽﾊﾞﾝﾃﾞﾝﾜｾﾂｿﾞｸ]：ｵﾌ

ファクスを受信する（外付け電話機を接続しない）

自動受信（ファクス専用）

電話回線をファクス専用として使う場合に設定します。設定メニューの[ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ]－[ﾖﾋﾞﾀﾞｼｶｲｽｳ]で設定されている回数分の時間が経過後、受信が始まります。



ファクス専用で使用する場合は、設定メニューを以下のように設定してください。

- ［ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ］ － ［ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ］：ｵｰﾄ RX
- ［ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ］ － ［TEL/FAX ｷﾘｶｴ］：ｵﾌ
- ［ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ］ － ［ﾙｽﾊﾞﾝﾃﾞﾝﾜｾﾂｿﾞｸ］：ｵﾌ

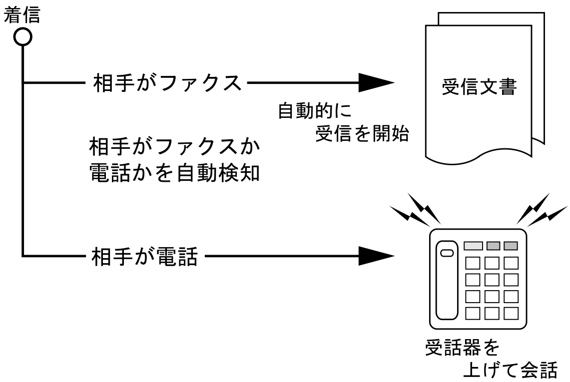
設定メニューの「ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ」が「ﾏﾆｭｱﾙ RX」に設定されている場合、ファクスは自動的に受信されません。詳しくは、「ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ」（p.38）をごらんください。

本機の「ﾒﾓﾘ ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ」の設定が「ｵﾝ」の場合、ファクス受信後、自動的に印刷を開始しません。受信したドキュメントはメモリに保存され、「ﾒﾓﾘ ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ」設定で指定した時間に印刷されます。また、「ﾒﾓﾘ ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ」の設定を「ｵﾌ」にすると印刷されます。設定メニューの「ﾒﾓﾘ ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ」については、「ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ」（p.38）を、「ﾒﾓﾘ ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ」の設定のしかたについて詳しくは、「メモリ受信モードを設定する」（p.47）をごらんください。

ファクスを受信する（外付け電話機を接続する）

自動受信（TEL/FAX 自動切替え）

外付け電話機を本機に接続している場合に設定します。着信後、相手がファクスなのか電話なのかを自動的に検知して動作します。



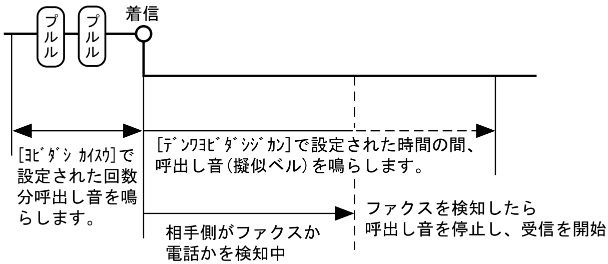
自動受信（TEL/FAX 自動切替え）で使用する場合は、設定メニューを以下のように設定してください。

- [ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ] ― [ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ]：ｵｰﾄ RX
- [ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ] ― [TEL/FAX ｷﾘｶｴ]：ｵﾝ
- [ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ] ― [ﾙｽﾊﾞﾝﾃﾞﾝﾜｾﾂｿﾞｸ]：ｵﾌ

＜相手側がファクスのとき＞

ファクスを受信した場合、自動的にファクス受信を開始します。

受話器をとって相手側がファクスであった（ポーポー音が聞こえた）場合、ファクス受信に切替えるには、スタートキーを押してください。ファクス受信が開始されます。

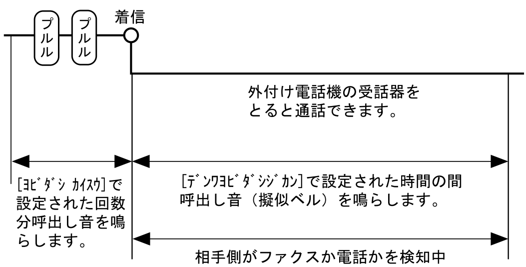


＜相手側が電話のとき＞

電話を受信した場合、まず電話機から呼び出し音が鳴り、その後 magicolor 2590MF の呼び出し音が鳴ります。

電話機または magicolor 2590MF の呼び出し音が鳴っている間に受話器を上げると通話ができます。

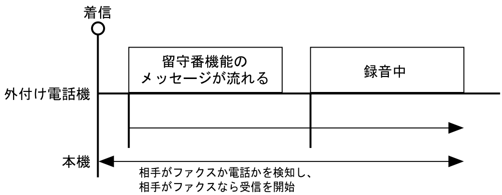
受話器を上げない場合、magicolor 2590MF の呼び出し音が鳴り終わるとファクス受信に自動的に切り替わります。「ﾂｳｼﾝｴﾗｰ」が表示されることがありますが、次の受信の際にエラー表示は自動的に解除されますのでそのままお使いください。



本機の「TEL/FAX ｷﾘｶｴ」が「ｵﾝ」の状態で着信した場合、電話機に出なかった場合でも相手側に通話料がかかります。

自動受信（外付け電話機の留守番機能を使用）

外付け電話機を本機に接続している場合に設定します。ファクス優先で使用し、常に外付け電話機の留守番機能を設定している場合に、このモードに設定しておくと便利です。着信すると外付け電話機の留守番機能メッセージが流れ、相手先がファクスであれば自動的に受信を開始します。



外付け電話機の留守番機能を使用する場合は、設定メニューを以下のように設定してください。

- ［ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ］ー［ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ］: ｵｰﾄ RX
- ［ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ］ー［TEL/FAX ｷﾘｶｴ］: ｵﾌ
- ［ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ］ー［ﾙｽﾊﾞﾝﾃﾞﾝﾜｾﾂｿﾞｸ］: ｵﾝ

＜相手側がファクスのとき＞

外付け電話機の留守番機能から本機に自動的に切替わり、受信を開始します。

外付け電話機の留守番機能を接続して使用する場合は、設定メニューの「ﾙｽﾊﾞﾝﾃﾞﾝﾜｾﾂｿﾞｸ」を「ｵﾝ」に設定し、外付け電話機側の応答するまでの呼び出し回数は 20 秒以内の回数を設定してください。
設定メニューの「ﾙｽﾊﾞﾝﾃﾞﾝﾜｾﾂｿﾞｸ」については「ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ」（p.41）をごらんください。

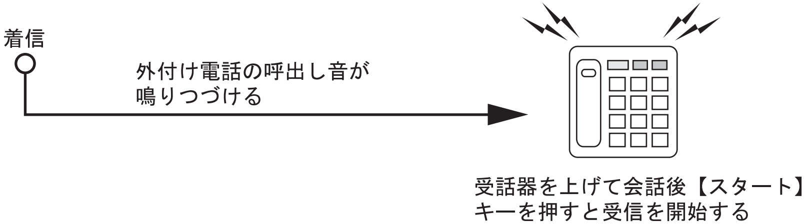
＜相手側が電話のとき＞

送信側に対して留守番機能のメッセージが流れます。

外付け電話機の留守番機能を利用しない場合は必ず「ﾙｽﾊﾞﾝﾃﾞﾝﾜｾﾂｿﾞｸ」を「ｵﾌ」にしてください。詳しくは、「ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ」（p.45）をごらんください。

手動受信（主に電話専用）

外付け電話機を本機に接続し電話として使用することが多い場合にマニュアル RX モードにしておくと便利です。受話器をあげてスタートキーを押すことで、ファクス受信も可能です。

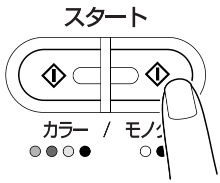


手動受信で使用する場合は、設定メニューを以下のように設定してください。

■ ［ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ］ ― ［ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ］：ﾏﾆｭｱﾙ RX

1 電話が鳴ったら、受話器を上げます。

2 スタートキーを押します。
ファクス受信が始まります。



電話での会話が終了後、スタートキーを押してファクス受信をします。

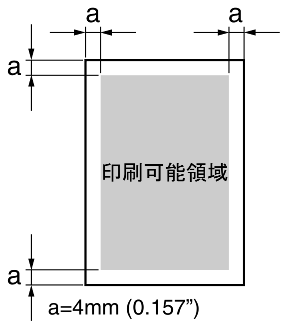
3 受話器を置きます。

スリープモード中の場合は、操作パネルのいずれかのキーを押してください。ウォームアップ後、スタートキーを押すと手動受信を開始します。

受信したファクスを印刷する

印刷可能領域について

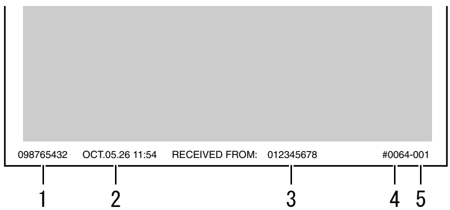
すべての用紙サイズにおいて、印刷可能領域は用紙の端から 4 mm までです。



印刷可能領域は、相手先の原稿読み込み領域によって変わることがあります。

送信者情報を追加して印刷する

設定メニューの「ﾌｯﾀ」を「ｵﾝ」にすると、受信ファクスを印刷するときに、送信者のファクス番号、受信日時、セッション番号、ページ番号を、ページ下部の端から 4 mm の部分に印字できます。



No.	項目	説明
1	本機のファクス番号	設定メニューの「ﾕｰｻﾞｰ ｾｯﾃｲ」で設定した本機のファクス番号が表示されます。
2	受信日時	ファクスが受信された日時が表示されます。時刻は 24 時間形式で表示されます。
3	送信者のファクス番号	送信者のファクス番号が表示されます。
4	セッション番号	ファクスを受信するセッション番号が表示されます。
5	ページ番号	ページ番号が表示されます。

フッタを印字するには、設定メニューの「ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ」の「ﾌｯﾀ」の設定を「ｵﾝ」にしてください。詳しくは、「ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲのﾌｯﾀ」（p. 39）をごらんください。

受信時の記録方法について

受信文書の長さと実際に記録される文書の関係は、下記のとおりです。

設定メニューの「ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ」の「ｼｭｸｼｮｳ ｼﾞｭｼﾝ」の設定により、記録方法が異なります。

ｼｭｸｼｮｳ ｼﾞｭｼﾝ：ｵﾝ

印刷用紙サイズ	「ﾌｯﾀ」設定	受信画像長（mm）	記録方法
A4	ｵﾌ	289 以下	1 ページに等倍（100%）で記録
		290 ～ 385	1 ページに 289 mm の画像長に縮小して記録
		386 ～ 570	2 ページに分割して等倍（100%）で記録
		571 ～ 851	3 ページに分割して等倍（100%）で記録
		852 ～	4 ページに分割して等倍（100%）で記録…
	ｵﾝ	285 以下	1 ページに等倍（100%）で記録
		286 ～ 381	1 ページに 285 mm の画像長に縮小して記録
		382 ～ 562	2 ページに分割して等倍（100%）で記録
		563 ～ 839	3 ページに分割して等倍（100%）で記録
		840 ～	4 ページに分割して等倍（100%）で記録…
レター	ｵﾌ	271 以下	1 ページに等倍（100%）で記録
		272 ～ 387	1 ページに 271 mm の画像長に縮小して記録
		388 ～ 534	2 ページに分割して等倍（100%）で記録
		535 ～ 797	3 ページに分割して等倍（100%）で記録
		798 ～	4 ページに分割して等倍（100%）で記録…

印刷用紙サイズ	「ﾌｯﾀ」設定	受信画像長（mm）	記録方法
	ｵﾝ	267 以下	1 ページに等倍（100%）で記録
		268 ～ 383	1 ページに 267 mm の画像長に縮小して記録
		382 ～ 526	2 ページに分割して記録
		527 ～ 785	3 ページ以上に分割して記録
		786 ～	4 ページに分割して等倍（100%）で記録…
リーガル	ｵﾌ	348 以下	1 ページに等倍（100%）で記録
		348 ～ 385	1 ページに 347 mm の画像長に縮小して記録
		386 ～ 686	2 ページに分割して等倍（100%）で記録
		687 ～ 1025	3 ページに分割して等倍（100%）で記録
		1026 ～	4 ページに分割して等倍（100%）で記録…
	ｵﾝ	344 以下	1 ページに等倍（100%）で記録
		344 ～ 381	1 ページに 343 mm の画像長に縮小して記録
		382 ～ 678	2 ページに分割して等倍（100%）で記録
		679 ～ 1013	3 ページに分割して等倍（100%）で記録
		1014 ～	4 ページに分割して等倍（100%）で記録…

ｼｭｸｼｮｳ ｼﾞｭｼﾝ : ｵﾌ

印刷用紙サイズ	「ﾌｯﾀ」設定	受信画像長（mm）	記録方法
A4	ｵﾌ	289 以下	1 ページに記録
		290 ～ 570	2 ページに分割して記録
		571 ～ 851	3 ページに分割して記録
		852 ～	4 ページ以上に分割して記録
	ｵﾝ	285 以下	1 ページに記録
		286 ～ 562	2 ページに分割して記録
		563 ～ 839	3 ページに分割して記録
		840 ～	4 ページ以上に分割して記録
レター	ｵﾌ	271 以下	1 ページに記録
		272 ～ 534	2 ページに分割して記録
		535 ～ 797	3 ページに分割して記録
		798 ～	4 ページ以上に分割して記録
	ｵﾝ	267 以下	1 ページに記録
		268 ～ 526	2 ページに分割して記録
		527 ～ 785	3 ページに分割して記録
		786 ～	4 ページ以上に分割して記録
リーガル	ｵﾌ	348 以下	1 ページに記録
		349 ～ 688	2 ページに分割して記録
		689 ～ 1028	3 ページに分割して記録
		1029 ～	4 ページ以上に分割して記録

印刷用紙サイズ	「ﾌｯﾀ」設定	受信画像長（mm）	記録方法
	ｵﾝ	344 以下	1 ページに記録
		345 ～ 680	2 ページに分割して記録
		681 ～ 1016	3 ページに分割して記録
		1017 ～	4 ページ以上に分割して記録

ｼｭｸｼｮｳ ｼﾞｭｼﾝ : ｶｯﾄ

印刷用紙サイズ	「ﾌｯﾀ」設定	受信画像長（mm）	記録方法
A4	ｵﾌ	289 以下	1 ページに記録
		290 ～ 313	受信画像の下部 1 ～ 24 mm を破棄し、1 ページに記録
		314 ～ 570	2 ページに分割して記録
		571 ～ 594	受信画像の下部 1 ～ 24 mm を破棄し、2 ページに分割して記録
		595 ～ 851	3 ページに分割して記録
		852 ～	3 ページに分割して記録 ...
	ｵﾝ	285 以下	1 ページに記録
		286 ～ 309	受信画像の下部 1 ～ 24 mm を破棄し、1 ページに記録
		310 ～ 562	2 ページに分割して記録
		563 ～ 586	受信画像の下部 1 ～ 24 mm を破棄し、2 ページに分割して記録
		587 ～ 839	3 ページに分割して記録
		840 ～	3 ページに分割して記録 ...

印刷用紙サイズ	「ﾌｯﾀ」設定	受信画像長（mm）	記録方法
レター	ｵﾌ	271 以下	1 ページに記録
		272 〜 295	受信画像の下部 1 〜 24 mm を破棄し、1 ページに記録
		296 〜 534	2 ページに分割して記録
		535 〜 558	受信画像の下部 1 〜 24 mm を破棄し、2 ページに分割して記録
		559 〜 797	3 ページに分割して記録
		798 〜	3 ページに分割して記録 ...
	ｵﾝ	267 以下	1 ページに記録
		268 〜 291	受信画像の下部 1 〜 24 mm を破棄し、1 ページに記録
		292 〜 526	2 ページに分割して記録
		527 〜 550	受信画像の下部 1 〜 24 mm を破棄し、2 ページに分割して記録
		551 〜 785	3 ページに分割して記録
		786 〜	3 ページに分割して記録 ...
リーガル	ｵﾌ	348 以下	1 ページに記録
		348 〜 371	受信画像の下部 1 〜 24 mm を破棄し、1 ページに記録
		372 〜 686	2 ページに分割して記録
		687 〜 710	受信画像の下部 1 〜 24 mm を破棄し、2 ページに分割して記録
		711 〜 1025	3 ページに分割して記録
		1026 〜	3 ページに分割して記録 ...

印刷用紙サイズ	「ﾌｯﾀ」設定	受信画像長（mm）	記録方法
	ｵﾝ	344 以下	1 ページに記録
		344 ～ 367	受信画像の下部 1 ～ 24 mm を破棄し、1 ページに記録
		368 ～ 678	2 ページに分割して記録
		679 ～ 702	受信画像の下部 1 ～ 24 mm を破棄し、2 ページに分割して記録
		703 ～ 1013	3 ページに分割して記録
		1014 ～	3 ページに分割して記録 ...

6

相手先を登録する

ファクス登録機能について

頻繁に使うファクス番号は、ワンタッチダイアル、短縮ダイアル、グループダイアルとして登録でき、送信時に簡単に呼び出すことができます。また、登録することで、ファクス番号の入力エラーを防ぐことができます。

登録には、以下の種類があります。

- ワンタッチダイアル：ワンタッチダイアルキーにファクス番号を登録します。ワンタッチダイアルキーを押すと、ファクス番号を呼び出すことができます。登録のしかたについては、「ワンタッチダイアル」（p.105）をごらんください。
- 短縮ダイアル：短縮ダイアルにファクス番号を登録します。短縮ダイアルキーを押し、短縮ダイアル番号をテンキーで入力すると、ファクス番号を呼び出すことができます。登録のしかたについては、「短縮ダイアル」（p.111）をごらんください。
- グループダイアル：複数の相手先をグループとしてまとめて、ひとつのワンタッチダイアルキーに登録します。ワンタッチダイアルキーを押すと、グループを呼び出すことができます。登録のしかたについては、「グループダイアル」（p.118）をごらんください。

相手先をワンタッチダイアルまたは短縮ダイアルに登録すると、検索機能を使用して、相手先を検索できるようになります。検索機能の使用方法については、「リスト機能で検索して送信する」（p.69）または「検索機能で検索して送信する」（p.71）をごらんください。

ワンタッチダイアル

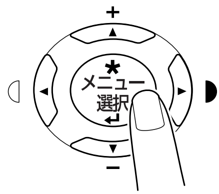
ワンタッチダイアルを登録する

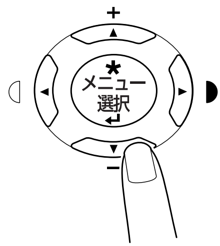
頻繁に使うファクス番号は、ワンタッチダイアルに登録します（最大 9 件）。

ファクス送信時には、ワンタッチダイアルキーを押して、ファクス番号を呼び出します。

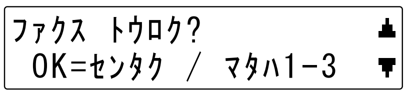
複数の相手先を 1 つのワンタッチダイアルキーに登録する場合は、グループダイアルとして登録してください。グループダイアルの登録のしかたは、「グループダイアルを登録する」（p.118）をごらんください。

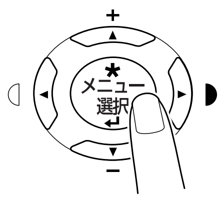
1 メニュー選択キーを押し、▼ キーを 3 回押します。



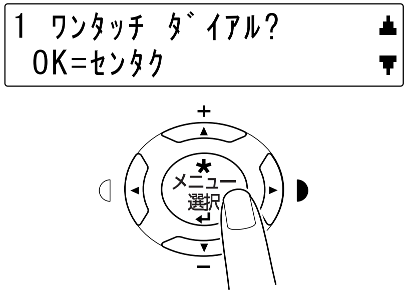


2 「ﾌｧｸｽ ﾄｳﾛｸ」画面が表示されていることを確認して、メニュー選択キーを押します。

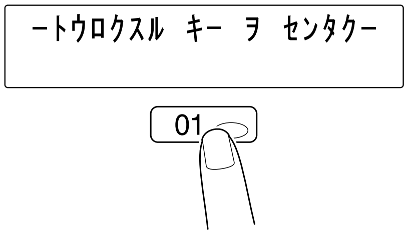




3 「ﾜﾝﾀｯﾁ ﾀﾞｲｱﾙ」画面が表示されていることを確認して、メニュー選択キーを押します。

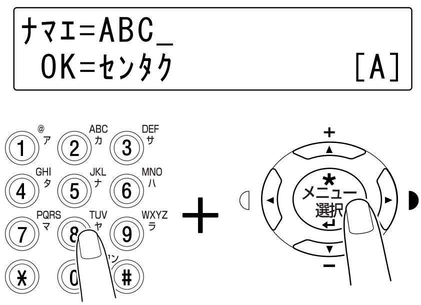


4 ファクス番号を登録したいワンタッチダイアルキーを押します。



選択したワンタッチダイアルキーにすでにファクス番号が登録されている場合は、「ﾄｳﾛｸｽﾞﾐﾃﾞｽ!」というメッセージが表示されます。メニュー選択キーを押して、何も登録されていないキーを押してください。

5 ワンタッチダイアルの名前を入力し、メニュー選択キーを押します。

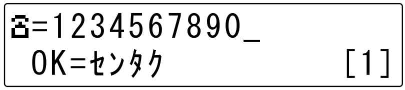


名前には20文字まで入力できます。

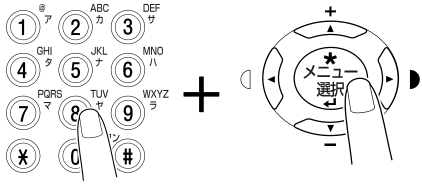
文字の入力／修正については、「入力のしかた」(p.143) をごらんください。

登録をキャンセルするには、キャンセル /C キーを押します。(名称を入力している途中で登録をキャンセルする場合は、メニュー選択キーを押してからキャンセル /C キーを押します。)

6 テンキーで相手先のファクス番号を入力し、メニュー選択キーを押します。



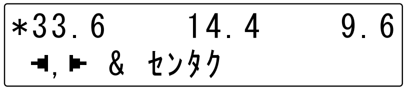
ファクス番号には、50 桁まで入力できます。

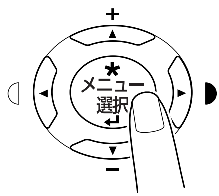


文字の入力／修正については、「入力のしかた」(p.143）をごらんください。

登録をキャンセルするには、キャンセル /C キーを押します。（名称を入力している途中で登録をキャンセルする場合は、メニュー選択キーを押してからキャンセル /C キーを押します。）

7 モデムスピードを選択し、メニュー選択キーを押します。
入力した情報が、ワンタッチダイアルキーに登録され、「ﾄｳﾛｸｽﾙ ｷｰ ｦ ｾﾝﾀｸ」というメッセージが表示されます。





送信エラーが発生する場合、14.4 または 9.6 のモデムスピードを選択してください。





8 続けて別のワンタッチダイアルを登録する場合は、ワンタッチダイアルキーを押して、手順 5 からの操作を繰り返します。

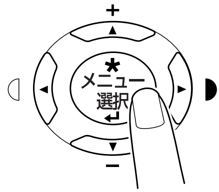


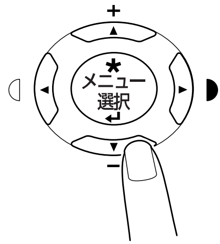
登録を終了して、ファクスモード画面に戻る場合は、ファクスモード画面が表示されるまで、キャンセル /C キーを押します。

ワンタッチダイアルを変更、削除する

登録したワンタッチダイアルの情報は修正できます。

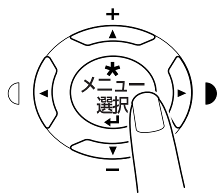
1 メニュー選択キーを押し、▼キーを3回押します。





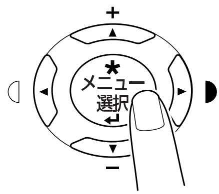
2 「ﾌｧｸｽ ﾄｳﾛｸ」画面が表示されていることを確認して、メニュー選択キーを押します。

ﾌｧｸｽ ﾄｳﾛｸ?
 OK=ｾﾝﾀｸ / ﾏﾀﾊ1-3



3 「ﾜﾝﾀｯﾁ ﾀﾞｲｱﾙ」画面が表示されていることを確認して、メニュー選択キーを押します。

1 ﾜﾝﾀｯﾁ ﾀﾞｲｱﾙ?
 OK=ｾﾝﾀｸ



4 修正または削除したいワンタッチダイアルが登録されているキーを押します。

```
ﾄｳﾛｸｽﾞﾐﾃﾞｽ!  ﾎｼﾞｼﾏｽｶ?
 OK=ｾﾝﾀｸ  ﾍﾝｼｭｳ=ｷｬﾝｾﾙ
```

5 キャンセル /C キーを押します。

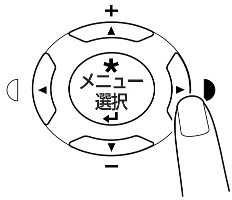


グループダイアルが登録されているワンタッチダイアルキーを押すと、「ｸﾞﾙｰﾌﾟ」というメッセージが画面の右上に表示されます。グループダイアルを削除する場合は、キャンセル /C キーを押します。

グループダイアルを修正する場合は、「グループダイアルを変更、削除する」（p.121）をごらんください。

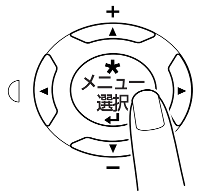
6 ◀ キーまたは ▶ キーを押して、「ﾍﾝｼｭｳ」または「ｼｮｳｷｮ」を選択し、メニュー選択キーを押します。

```
*ﾍﾝｼｭｳ        ｼｮｳｷｮ
 ◄,►  &  ｾﾝﾀｸ
```



「ﾍﾝｼｭｳ」を選択した場合は、ワンタッチダイアルの名前が表示されます。手順 7 へ進みます。

「ｼｮｳｷｮ」を選択した場合は、ワンタッチダイアルに登録された情報が削除され、「ﾄｳﾛｸｽﾙ ｷｰ ｦ ｾﾝﾀｸ」というメッセージが表示されます。手順 9 へ進みます。



グループダイアルに使われているワンタッチダイアルを削除した場合は、グループダイアルからも削除されます。

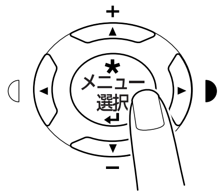
```
ﾜﾝﾀｯﾁ01
          ｼｮｳｷｮ  ｼﾏｼﾀ*
```

7 名前、ファクス番号、モデムスピードを必要に応じて変更します。

文字の入力／修正については、「入力のしかた」（p.143）をごらんください。

編集しようとしたワンタッチダイアルが、グループダイアルに登録されている場合、グループダイアル内の該当する登録を残すかどうか確認するメッセージ「ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾆ ﾎｼﾞ ｼﾏｽｶ」が表示されます。メニュー選択キーを押すと、グループダイアル内の該当する登録が変更されます。キャンセル /C キーを押すと、グループダイアル内の該当する登録は削除されます。

8 変更が終了したら、メニュー選択キーを押します。
「ﾄｳﾛｸｽﾙ ｷｰ ｦ ｾﾝﾀｸ」というメッセージが表示されます。



ﾜﾝﾀｯﾁ01
ﾍﾝｼｭｳ ｼﾏｼﾀ*

-ﾄｳﾛｸｽﾙ ｷｰ ｦ ｾﾝﾀｸ-
(ﾄｳﾛｸ ｶﾝﾘｮｳ=ｷｬﾝｾﾙ)

9 続けて別のワンタッチダイアルの情報を変更または削除する場合は、ワンタッチダイアルキーを押します。
または
変更を終了して、ファクスモード画面に戻る場合は、ファクスモード画面が表示されるまで、キャンセル /C キーを押します。



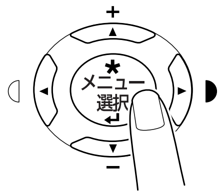
短縮ダイアル

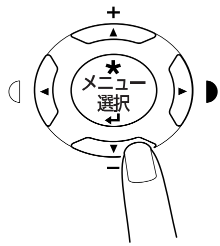
短縮ダイアルを登録する

頻繁に使うファクス番号は、短縮ダイアルに登録します（最大 100 件）。

ファクス送信時には、短縮ダイアル番号を入力して、ファクス番号を呼び出します。

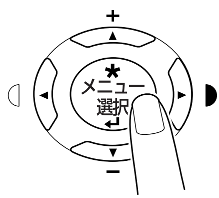
1 メニュー選択キーを押し、▼キーを 3 回押します。

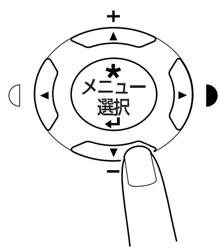




2 「ﾌｧｸｽ ﾄｳﾛｸ」画面が表示されていることを確認して、メニュー選択キーを押し、▼キーを押します。

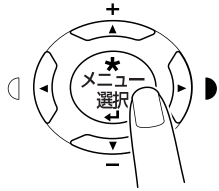
```
ﾌｧｸｽ ﾄｳﾛｸ?
 OK=ｾﾝﾀｸ / ﾏﾀﾊ1-3
```





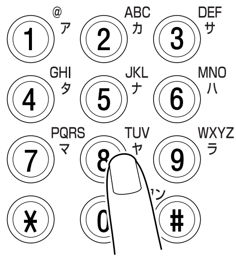
3 「ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ」画面が表示されていることを確認して、メニュー選択キーを押します。

```
2 タンシュク ダイアル?      ▲
 OK=センタク               ▼
```



4 テンキーで 3 桁の短縮ダイアル番号を入力します。（例：011）

```
タンシュク ダイアル=_
```

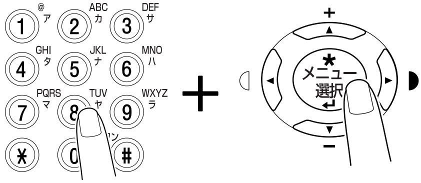


選択した短縮ダイアル番号にすでにファクス番号が登録されている場合は、「ﾄｳﾛｸｽﾞﾐﾃﾞｽ!」というメッセージが表示されます。メニュー選択キーを押して、何も登録されていない番号を押してください。

2 桁のスピードダイアル番号を入力する場合は、最初に「0」を入力してください。例：スピードダイアル番号が「11」の場合、「011」と入力してください。

5 短縮ダイアルの名前を入力し、メニュー選択キーを押します。

```
ナマエ=ABC_
 OK=センタク                [A]
```



名前には20文字まで入力できます。

文字の入力／修正については、「入力のしかた」(p.143) をごらんください。

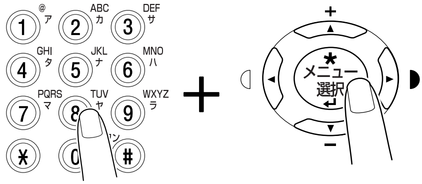
登録をキャンセルするには、キャンセル /C キーを押します。（名称を入力している途中で登録をキャンセルする場合は、メニュー選択キーを押してからキャンセル /C キーを押します。）

6 テンキーで相手先のファクス番号を入力し、メニュー選択キーを押します。

```
☎=1234567890_
 OK=センタク          [1]
```

ファクス番号には、50 桁まで入力できます。

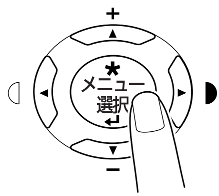
文字の入力／修正については、「入力のしかた」（p.143）をごらんください。



登録をキャンセルするには、キャンセル /C キーを押します。（名称を入力している途中で登録をキャンセルする場合は、メニュー選択キーを押してからキャンセル /C キーを押します。）

7 モデムスピードを選択し、メニュー選択キーを押します。
入力した情報が、短縮ダイアル番号に登録され、短縮ダイアル番号を入力する画面が表示されます。

```
*33.6    14.4    9.6
 ◀,▶ & センタク
```



送信エラーが発生する場合、14.4 または 9.6 のモデムスピードを選択してください。

```
*タンシュク ダ゛イアル003
          トウロク シマシタ*
```

```
タンシュク ダ゛イアル=_
  (トウロク カンリョウ=キャンセル)
```

8 続けて別の短縮ダイアルを登録する場合は、短縮ダイアル番号を入力して、手順 4 からの操作を繰り返します。

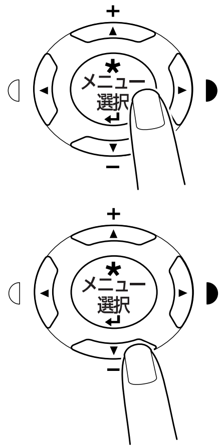


登録を終了して、ファクスモード画面に戻る場合は、ファクスモード画面が表示されるまで、キャンセル /C キーを押します。

短縮ダイアルを変更、削除する

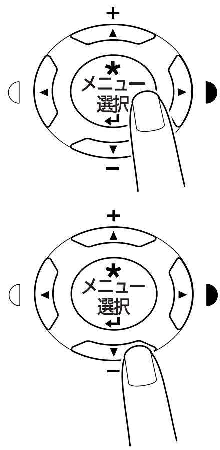
登録した短縮ダイアルの情報は修正できます。

1 メニュー選択キーを押し、▼キーを3回押します。



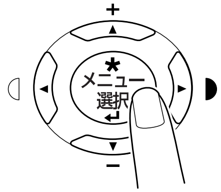
2 「ﾌｧｸｽ ﾄｳﾛｸ」画面が表示されていることを確認して、メニュー選択キーを押し、▼キーを押します。

ファクス トウロク?
OK=センタク / マタハ1-3

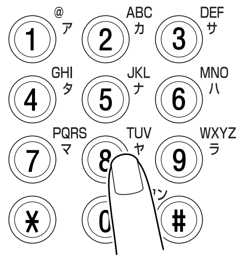


3 「ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ」画面が表示されていることを確認して、メニュー選択キーを押します。

```
2 ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ?
 OK=ｾﾝﾀｸ
```



4 修正または削除したい短縮ダイアル番号を入力します。



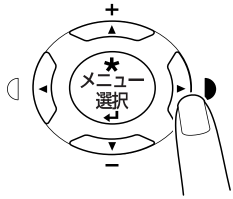

```
ﾄｳﾛｸｽﾞﾐﾃﾞｽ! ﾎｼﾞｼﾏｽｶ?
 OK=ｾﾝﾀｸ ﾍﾝｼｭｳ=ｷｬﾝｾﾙ
```

5 キャンセル /C キーを押します。

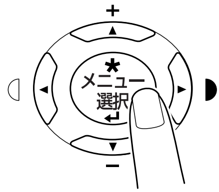


6 ◀ キーまたは ▶ キーを押して、「ﾍﾝｼｭｳ」または「ｼｮｳｷｮ」を選択し、メニュー選択キーを押します。

```
*ﾍﾝｼｭｳ       ｼｮｳｷｮ
 ◀, ▶ & ｾﾝﾀｸ
```



「ﾍﾝｼｭｳ」を選択した場合は、短縮ダイアルの名前が表示されます。手順 7 へ進みます。



「ｼｮｳｷｮ」を選択した場合は、短縮ダイアルに登録された情報が削除され、短縮ダイアル入力画面が表示されます。手順 9 へ進みます。

グループダイアルに使われている短縮ダイアルを削除した場合は、グループダイアルからも削除されます。

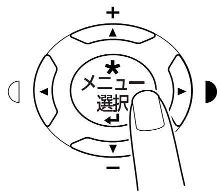
```
*ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ001
         ｼｮｳｷｮ ｼﾏｼﾀ*
```

7 名前、ファクス番号、モデムスピードを必要に応じて変更します。

文字の入力／修正については、「入力のしかた」（p.143）をごらんください。

編集した短縮ダイアルが、グループダイアルに登録されている場合、グループダイアル内の該当する登録を残すかどうか確認するメッセージが表示されます。メニュー選択キーを押すと、グループダイアル内の該当する登録が変更されます。キャンセル /C キーを押すと、グループダイアル内の該当する登録は削除されます。

8 変更が終了したら、メニュー選択キーを押します。
短縮ダイアル入力画面が表示されます。




```
*タンシュク ダ゛イアル002
        ヘンシュウ シマシタ*
```

```
タンシュク ダ゛イアル=_
  (トウロク カンリョウ=キャンセル)
```

9 続けて別の短縮ダイアルの情報を変更または削除する場合は、短縮ダイアル番号を入力し、手順 5 からの操作を繰り返します。



変更を終了して、ファクスモード画面に戻る場合は、ファクスモード画面が表示されるまで、キャンセル /C キーを押します。

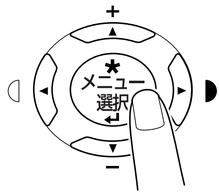
グループダイアル

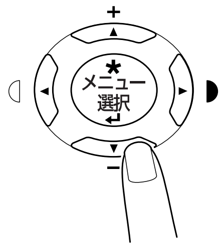
グループダイアルを登録する

頻繁に使う同報送信のファクス番号は、短縮ダイアルに登録します。1 つのワンタッチダイアルキーに最大 50 件登録可能です。

ファクス送信時には、短縮ダイアル番号を入力して、同報送信のファクス番号を呼び出します。

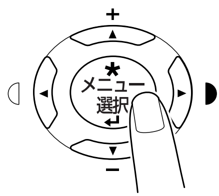
1 メニュー選択キーを押し、▼キーを 3 回押します。

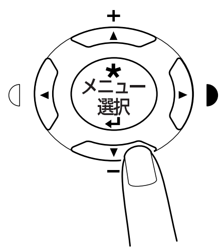




2 「ﾌｧｸｽ ﾄｳﾛｸ」画面が表示されていることを確認して、メニュー選択キーを押し、▼キーを 2 回押します。

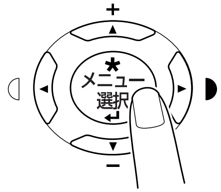
```
ファクス トウロク?
 OK=センタク / マタハ1-3
```





3 「ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ」画面が表示されていることを確認して、メニュー選択キーを押します。

```
3 ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ?
 OK=ｾﾝﾀｸ
```



4 グループダイアルを登録したいワンタッチダイアルキーを押します。

```
ｰﾄｳﾛｸｽﾙ ｷｰ ｦ ｾﾝﾀｸｰ
```

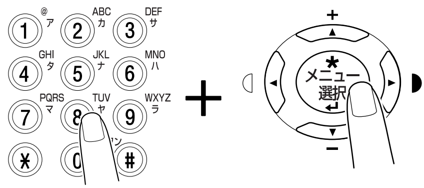
選択したワンタッチダイアルキーにすでにファクス番号が登録されている場合は、「ﾄｳﾛｸｽﾞﾐﾃﾞｽ!」というメッセージが表示されます。メニュー選択キーを押して、何も登録されていないキーを押してください。

5 グループダイアルの名前を入力し、メニュー選択キーを押します。

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾒｲ=ABC_
 OK=ｾﾝﾀｸ              [A]
```

名前には20文字まで入力できます。

文字の入力／修正については、「入力のしかた」（p.143）をごらんください。



登録をキャンセルするには、キャンセル /C キーを押します。（名称を入力している途中で登録をキャンセルする場合は、メニュー選択キーを押してからキャンセル /C キーを押します。）

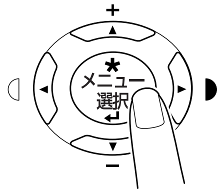
6 ワンタッチダイアルキーまたは短縮ダイアル番号を使って、相手先を指定します。

```
No.001=ABC
 OK=ｾﾝﾀｸ  ｶﾝﾘｮｳ=ｽﾀｰﾄ
```

短縮ダイアル番号を指定する場合は、短縮ダイアルキーを押し、3 桁の短縮ダイアル番号を入力します。

現在選択している相手先をキャンセルしたい場合は、キャンセル / C キーを押します。

7 メニュー選択キーを押して、次の相手先を指定します。

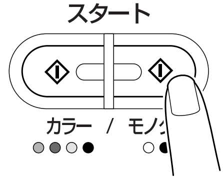


目的の相手先をすべて指定するまで、手順 6 ～ 7 を繰り返してください。

グループダイアルが登録されたワンタッチダイアルキーも指定できます。この場合、指定したワンタッチダイアルに登録されている相手先がすべて追加されます。

登録をキャンセルするには、キャンセル /C キーを「ﾌｧｸｽ ﾄｳﾛｸ」画面が表示されるまで押します。

8 目的の相手先の登録がすべて完了したあと、スタートキーを押します。
入力した情報がワンタッチダイアルキーに登録され、「ﾄｳﾛｸｽﾙ ｷｰ ｦ ｾﾝﾀｸ」というメッセージが表示されます。



*ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ01
ﾄｳﾛｸ ｼﾏｼﾀ*

-ﾄｳﾛｸｽﾙ ｷｰ ｦ ｾﾝﾀｸ-
(ﾄｳﾛｸ ｶﾝﾘｮｳ=ｷｬﾝｾﾙ)

9 別のグループキーを登録する場合は、ワンタッチダイアルキーを押し、手順 5 からを繰り返します。

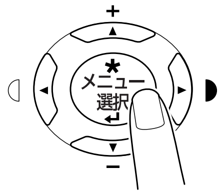


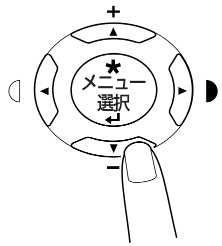
登録を終了して、ファクスモード画面に戻る場合は、ファクスモード画面が表示されるまで、キャンセル /C キーを押します。

グループダイアルを変更、削除する

登録したグループダイアルの情報を修正できます。

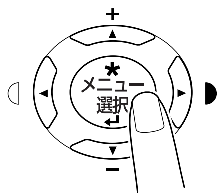
1 メニュー選択キーを押し、▼キーを３回押します。

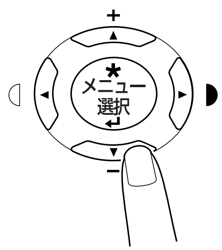




2 「ﾌｧｸｽ ﾄｳﾛｸ」画面が表示されていることを確認して、メニュー選択キーを押し、▼キーを２回押します。

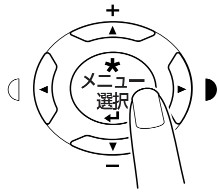
ﾌｧｸｽ ﾄｳﾛｸ?
OK=ｾﾝﾀｸ / ﾏﾀﾊ1-3





3 「ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ」画面が表示されていることを確認して、メニュー選択キーを押します。

```
3 ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ?        ▲
 OK=ｾﾝﾀｸ               ▼
```



4 修正または削除したいワンタッチダイアルキーを押します。

```
ﾄｳﾛｸｽﾞﾐﾃﾞｽ! ﾎｼﾞｼﾏｽｶ?
 OK=ｾﾝﾀｸ ﾍﾝｼｭｳ=ｷｬﾝｾﾙ
```

5 キャンセル /C キーを押します。

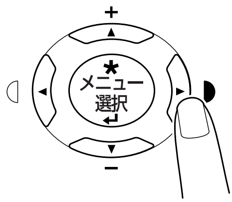


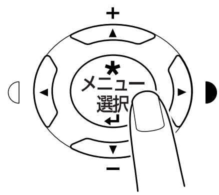
6 ◀ キーまたは ▶ キーを押して、「ﾍﾝｼｭｳ」または「ｼｮｳｷｮ」を選択し、メニュー選択キーを押します。

「ﾍﾝｼｭｳ」を選択した場合は、グループダイアルの名前が表示されます。手順 7 へ進みます。

「ｼｮｳｷｮ」を選択した場合は、ワンタッチダイアルキーに登録された情報が削除され、「ﾄｳﾛｸｽﾙ ｷｰ ｦ ｾﾝﾀｸ」というメッセージが表示されます。手順 10 へ進みます。

```
*ﾍﾝｼｭｳ        ｼｮｳｷｮ
 ◀, ▶  &  ｾﾝﾀｸ
```

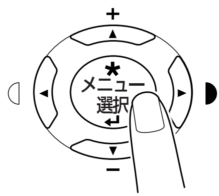





```
*ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ01
          ｼｮｳｷｮ ｼﾏｼﾀ*
```

7 グループ名を変更したい場合は、新しいグループ名を入力して、メニュー選択キーを押します。

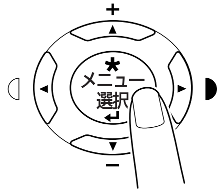
文字の入力／修正については、「入力のしかた」（p.143）をごらんください。



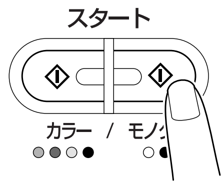
8 表示されている相手先を削除するには、キャンセル /C キーを押します。

表示されている相手先を保持するには、メニュー選択キーを押します。





9 変更が終了したら、スタートキーを押します。
入力した情報がワンタッチダイアルキーに登録され、「ﾄｳﾛｸｽﾙ ｷｰ ｦ ｾﾝﾀｸ」というメッセージが表示されます。




```
*ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ01
          ﾍﾝｼｭｳ ｼﾏｼﾀ*
```

```
 -ﾄｳﾛｸｽﾙ ｷｰ ｦ ｾﾝﾀｸ-
  (ﾄｳﾛｸ ｶﾝﾘｮｳ=ｷｬﾝｾﾙ)
```

10 続けて別のグループダイアルの情報を変更または削除する場合は、ワンタッチダイアルキーを押します。

変更を終了して、ファクスモード画面に戻る場合は、ファクスモード画面が表示されるまで、キャンセル /C キーを押します。



7 通信管理

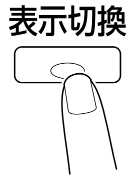
カウンターについて

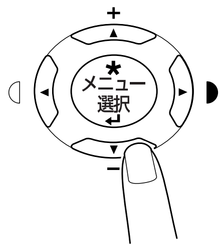
本機がインストールされてから行われた操作を、表示切換キーを押して、確認することができます。ファクス関連のカウンターのチェック方法は以下のとおりです。

ファクスプリントのカウンターを確認する

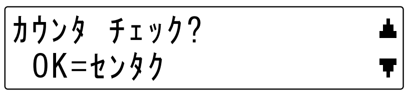
このカウンターは、本機が設置されてからの総印刷枚数を示しています。

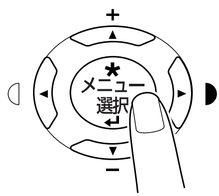
1 表示切換キーを押し、▼キーを押します。



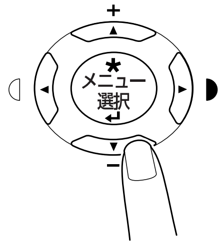


2 「ｶｳﾝﾀ ﾁｪｯｸ」画面が表示されていることを確認して、メニュー選択キーを押します。





3 ▼キーを 4 回押します。
「ﾌｧｸｽﾌﾟﾘﾝﾄ」画面が表示されます。

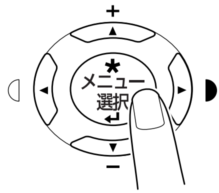


ファクスプ゚リント=000057
チェック シュウリョウ=センタク

4 カウンタをチェックします。

5 メニュー選択キーを押します。
「ｶｳﾝﾀ ﾁｪｯｸ」画面が表示されます。

ファクスモード画面に戻るには、キャンセル /C キーを押します。

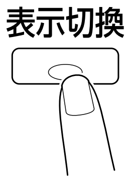


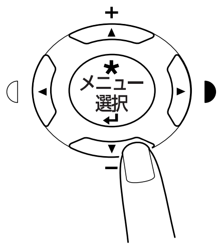
カウンタ チェック?
OK=センタク

スキャン合計のカウンターを確認する

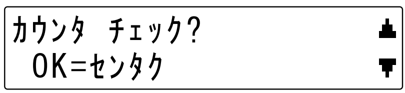
本機がインストールされてから行われたコピー以外の総スキャン回数を示しています。

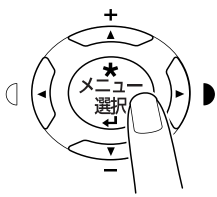
1 表示切換キーを押し、▼キーを押します。



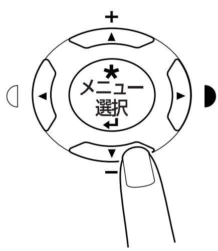


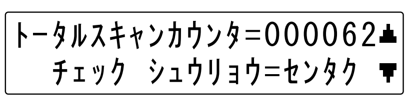
2 「ｶｳﾝﾀ ﾁｪｯｸ」画面が表示されていることを確認して、メニュー選択キーを押します。





3 ▼キーを 5 回押します。
「ﾄｰﾀﾙｽｷｬﾝ」画面が表示されます。

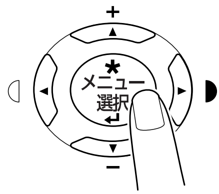




4 カウンタをチェックします。

5 メニュー選択キーを押します。
「ｶｳﾝﾀ ﾁｪｯｸ」画面が表示されます。

ファクスモード画面に戻るには、キャンセル /C キーを押します。

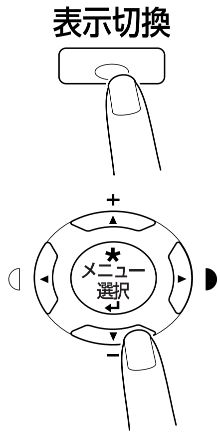



```
ｶｳﾝﾀ  ﾁｪｯｸ?
 OK=ｾﾝﾀｸ
```

送信／受信結果をディスプレイで確認する

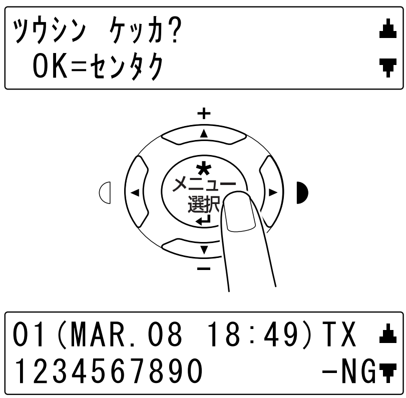
送受信結果をメッセージウィンドウで確認できます。

1 表示切換キーを押し、▼キーを2回押します。



2 「ﾂｳｼﾝ ｹｯｶ」画面が表示されていることを確認して、メニュー選択キーを押します。
送受信結果が表示されます。

スタートキーを押すと、メッセージウィンドウに表示されている通信結果の詳細なレポートを出力できます。
モノクロキーのみ使用できます。



3 確認後、ファクスモード画面に戻るまでキャンセル /C キーを押します。



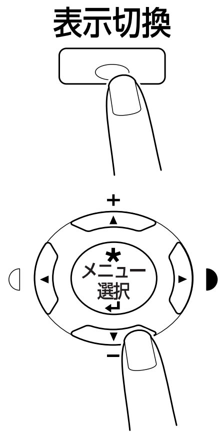
レポートとリストについて

ファクス送受信状態のレポートやワンタッチダイアルキーの内容などを印刷できます。

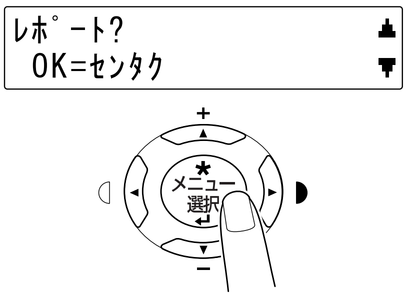
以下のレポートとリストを印刷できます。

レポートとリストを印刷する

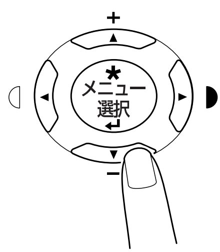
1 表示切換キーを押し、▼キーを3 回押します。



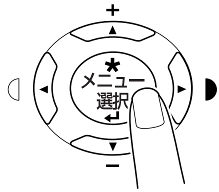
2 「ﾚﾎﾟｰﾄ」画面が表示されていることを確認して、メニュー選択キーを押します。



3 ▲キーまたは▼キーを押して目的のレポートを選択します



4 メニュー選択キーを押します
レポートが印刷されます。



ｿｳｼﾝ ｹｯｶ ﾚﾎﾟｰﾄ

文書番号、受信者名、送信日、送信開始時間、送信ページ数、送信にかかった時間、モード、送信結果が印刷されます。

送信結果レポートの印刷のしかた（送信毎：オン、エラー時のみ：オン（エラー）、印刷しない：オフ）を設定できます。詳しくは、「ﾚﾎﾟｰﾄ ｾｯﾃｲ」（p. 43）をごらんください。

SESSION	FUNCTION	NO.	DESTINATION STATION	DATE	TIME	PAGE	DURATION	MODE	RESULT
0001	TX	001	トウキョウ エイギョウ 012345678	APR.19	18:00	010	00h02min21s	G3	STOP
			00A0:TX CANCEL						

ｼﾞｭｼﾝ ｹｯｶ ﾚﾎﾟｰﾄ

文書番号、受信日、受信開始時間、受信ページ数、受信にかかった時間、モード、受信結果が印刷されます。

受信結果レポートの印刷のしかた（受信毎：オン、エラー時のみ：オン（エラー）、印刷しない：オフ）を設定できます。詳しくは、「ﾚﾎﾟｰﾄ ｾｯﾃｲ」（p. 43）をごらんください。

SESSION	FUNCTION	NO.	DESTINATION STATION	DATE	TIME	PAGE	DURATION	MODE	RESULT
0001	RX	001	098765432	APR.19	18:00	001	00h02min21s	ECM	NG
			0014:ERROR DURING RX						

ﾂｳｼﾝ ｶﾝﾘ ﾚﾎﾟｰﾄ

セッション番号、文書番号、通信日、送受信開始時間、通信のタイプ（送信または受信）、相手先名、送受信のページ数、通信結果が印刷されます。

通信結果レポートを送受信 60 回ごとに自動的に印刷するようセットすることができます。詳しくは、｢ﾚﾎﾟｰﾄ ｾｯﾃｲ｣（p. 43）をごらんください。

NO.	SESSION	DATE	TIME	TX/RX	DESTINATION STATION	PAGE	DURATION	MODE	RESULT
01	0001	APR.19	16:32	TX---	トウキョウ エイギョウ 012345678	006	00h01min16s	ECM	OK
02	0002	APR.19	18:00	---RX	098765432	001	00h02min21s	ECM	NG 0034
03	0003	APR.19	18:00	---RX	098765432	012	00h02min48s	ECM	OK
04	0004	APR.19	19:12	TX---	ホンシャ 024682468	001	00h00min56s	ECM	OK

ﾂｳｼﾝ ﾖﾔｸ ﾘｽﾄ

送信待ち文書および時刻指定通信の文書のリストです。

文書番号、送信タイプ、時刻、相手先名、ページ数が印刷されます。

SESSION	FUNCTION	TIME	NO.	DESTINATION STATION	PAGE
0001	TX	18:00	001	OT-01 トウキョウ　エイギョウ 012345678	012

ﾖﾔｸ ｶﾞｿﾞｳ ﾌﾟﾘﾝﾄ

メモリに蓄積されている文書の 1 ページ目の縮小画像を印刷できます。文書番号、送信タイプ、相手先名、日時、ページ数が併せて印刷されます。

ﾜﾝﾀｯﾁ ﾀﾞｲｱﾙ ﾘｽﾄ

ワンタッチダイアルキーに登録された相手先のリストが、ワンタッチダイアルキーの番号順に印刷されます。

OT-NO.	DESTINATION STATION	DESTINATION NUMBER	SPEED	SET DATE
OT-01	トウキョウ　エイギョウ	012345678	33.6	JAN.20.2006
OT-02	オオサカ　エイギョウ	098765432	33.6	JAN.20.2006
OT-03	ホンシャ	024682468	33.6	FEB.12.2006
OT-04	フクオカ　エイギョウ	0P02345678	12.8	FEB.12.2006

ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ ﾘｽﾄ

短縮ダイアル番号に登録された相手先のリストが、短縮ダイアル番号の順に印刷されます。

SP-NO.	DESTINATION STATION	DESTINATION NUMBER	SPEED	SET DATE
SP-001	アムステルダム　シシャ	0P09876543	33.6	JAN.20.2006
SP-002	カンコク　シシャ	0P01357913	33.6	JAN.20.2006
SP-003	ABCDEF	024682468	33.6	FEB.12.2006
SP-004	ユウビンキョク	0224466880	12.8	FEB.12.2006

ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ ﾘｽﾄ

ワンタッチダイアルキーに登録されたグループダイアルのリストが、ワンタッチダイアルキーの番号順に印刷されます。

KEY-NO.	NAME	NO.	DESTINATION STATION
OT-01	GROUP-01	01	OT-02　トウキョウ　エイギョウ 098765432
		02	OT-04　フクオカ　エイギョウ 0P02345678
		03	SP-001 アムステルダム　シシャ 0P09876543

ﾎﾝﾀｲ ｾｯﾃｲ ﾘｽﾄ

メニュー一覧と設定内容を印刷します。

ﾌﾟﾘﾝﾀ ｾｯﾃｲ ﾘｽﾄ

本機のおおよそのトナー残量、状態、情報、設定内容を印刷します。

ﾃﾞﾓ ﾍﾟｰｼﾞ

デモページを印刷します。

8 トラブル シューティング

送信時のトラブル

うまく送信できない場合は、次の表を参照して処置をしてください。処置をしても正常に送信できない場合は、サービス実施店にお問い合わせください。

エラーメッセージについては「エラーメッセージ」（p.139）をごらんください。原稿がつまった、用紙がつまった、画質が悪い、トナーがなくなったなどのトラブルについては、「プリンタ / コピー / スキャナ　ユーザーズガイド」をごらんください。

トラブルの内容	原因	処置のしかた
原稿が読み込まれない。	原稿が厚すぎるか、薄すぎませんか？	原稿ガラスを使って読み込んでください。
原稿が斜めに読み込まれる	ADF のガイド板が原稿の幅に合っていますか？	ADF のガイド板が原稿の幅に合わせてください。
相手先で受信した画像が不鮮明	原稿が正しくセットされていますか？	原稿を正しくセットしてください。
	原稿ガラスが汚れていませんか？	原稿ガラスを清掃してください。
	原稿の文字が薄くないですか？	濃度を設定してください。
	電話線が正しく接続されていますか？	電話線の接続を確認し、もう一度送信しなおしてください。
	回線状態か、受信側に問題はありませんか？	本機でコピーをとって本機の問題でないことを確認し、コピーの画像が鮮明なときは、相手先のファクス機の状態を確認してください。
相手先で受信した画像が白紙になる	送る面を下にしてセットしていませんか？（ADF 使用時）	送る面を上にして原稿をセットしなおしてください。

トラブルの内容	原因	処置のしかた
送信できない	送信の手順は正しいですか？	送信手順を確認して、もう一度送信してください。
	番号が間違っていませんか？	番号を確認してください。
	ワンタッチダイアルや短縮ダイアルは、正しく登録されていますか？	正しく登録されているかを確認してください。
	電話線の接続は正しいですか？	電話線の接続を確認し、外れている場合は、接続してください。
	受信側に原因がありませんか？（用紙切れや電源）	相手先に確認してください。

受信時のトラブル

うまく受信できない場合は、次の表を参照して処置をしてください。処置をしても正常に受信できない場合は、サービス実施店にお問い合わせください。

エラーメッセージについては「エラーメッセージ」（p.139）をごらんください。原稿がつまった、用紙がつまった、画質が悪い、トナーがなくなったなどのトラブルについては、「プリンタ / コピー / スキャナ　ユーザーズガイド」をごらんください。

トラブルの内容	原因	処置のしかた
受信した記録紙が白紙になる	回線状態か、相手先ファクスに問題がありませんか？	本機でコピーをとって確認してくださいコピーの画像が鮮明なときは、相手先にもう一度送信しなおしてもらってください。
	相手先が原稿を裏表逆にセットしていませんか？	相手先に確認してください。
自動着信されない	手動受信に設定されていませんか？	■ 自動着信に設定してください。 ■ スリープモード中の場合は、操作パネルのいずれかのキーを押してください。ウォームアップ後、スタートキーを押すと手動受信を開始します。
	メモリがいっぱいになっていませんか？	用紙がなくなっているときは用紙をセットして、メモリに蓄積されている文書を印刷してください。
	電話線の接続は正しいですか？	電話線の接続を確認し、外れている場合は、接続してください。
	送信側に原因がありませんか？	本機でコピーをとって確認してくださいコピーの画像が鮮明なときは、相手先にもう一度送信しなおしてもらってください。

エラーメッセージ

エラーメッセージ	原因	処置のしかた
ﾀﾞｲｱﾙ ﾃﾞｷﾏｾﾝ ⬍（交互に表示） ｶｲｾﾝ ｦ ｶｸﾆﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ	■ 回線の種類設定または PSTN/PBX 設定が正しく設定されていません。 ■ 電話線が接続されていません。	■ 回線の種類設定または PSTN/PBX 設定を確認し、適切な設定をしてください。 ■ 電話線を正しく接続してください。
＊ﾂｳｼﾝ ｴﾗｰ＊ (###)	■ 本機に何らかの問題が起きたため、通信できません。 ■ 相手先のファクス機に何らかの問題が起きたため、通信できません。	通信結果を確認してください。
＊ﾂｳｼﾝ ﾃﾞｷﾏｾﾝﾃﾞｼﾀ＊	相手先のファクス機が通信中か、応答がありません。	相手先の回線を確認し、もう一度送信しなおしてください。
＊ﾒﾓﾘﾌﾞｿｸ / ｿｳｼﾝｷｬﾝｾﾙ＊	送信文書のデータサイズがメモリ容量を超えています。	■ メモリに蓄積している受信文書を出力してください。 ■ 手動で送信してください。 ■ エラーメッセージ表示中に、キャンセル / C キーを押すと、エラーレポートが印刷されます。
＊ﾒﾓﾘﾌﾞｿｸ / ｼﾞｭｼﾝｷｬﾝｾﾙ＊	受信文書のデータサイズがメモリ容量を超えています。	■ メモリに蓄積している受信文書を出力してください。 ■ エラーメッセージ表示中に、キャンセル / C キーを押すと、エラーレポートが印刷されます。
＊ｼﾞｭﾜｷ ｶﾞ ｱｶﾞｯﾃｲﾏｽ＊	外付け電話機の受話器が上がっています。	外付け電話機の受話器を置いてください。

エラーメッセージ	原因	処置のしかた
ﾓｼﾞ　　x1.00　　　1 ◖[A]◗ #XXX ﾌｧｸｽ ﾁｭｳｲ	コピーモードで操作中にファクスエラーが起こりました。	ファクスキーを押して、エラーの状態を確認してください。
ﾓｼﾞ　　x1.00　　　1 ◖[A]◗ #XXX ﾂｳｼﾝ ｴﾗｰ	コピーモードで操作中にファクスの通信エラーが起こりました。	ファクスキーを押して、エラーの状態を確認してください。
ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ ! PC ｾﾂｿﾞｸﾁｭｳ	本機が LSU (Local Setup Utilitiy) または PageScope Web Connection の管理者モードで設定中です。	■ PageScope Web Connection の管理者モードをログオフしてください。 ■ LSU (Local Setup Utilitiy) を終了させてください。 ■ 600 秒間、何も操作がなければ、基本画面が表示されます。

付録 A

技術仕様

適応回線	加入電話回線（PSTN） PBX 回線
通信規格	ECM/Super G3
伝送速度	33600, 31200, 28800, 26400, 24000, 21600, 19200, 16800, 14400, 12000, 9600, 7200, 4800, 2400 (bps)
伝送時間	3 秒 / ページ (V.34)
符号化方式	MH, MR, MMR, JBIG
蓄積枚数	4 MB (約 250 ページ)
最大読取りサイズ	ADF：216 mm × 500 mm （500 mm：ファクス送信のみ） 原稿ガラス：リーガル
最大記録サイズ	リーガル
画像欠損	4 mm（先端、後端、奥側、手前側）
読み取り解像度	主走査：8 ドット 副走査：3.85 ドット（標準） 7.7 ドット（ファイン） 15.4 ドット（スーパーファイン）

その他の仕様については、「プリンタ / コピー / スキャナ　ユーザーズガイド」をごらんください。

入力のしかた

入力できる文字

テンキーを使って、数字、文字、シンボルを入力します。
入力可能な文字は以下のとおりです。

ファクス番号入力時

テンキー	[1]	[1] *	[A] *
1	1	1	-1
2	2	2	2
3	3	3	3
4	4	4	4
5	5	5	5
6	6	6	6
7	7	7	7
8	8	8	8
9	9	9	9
0	0	0	(space)0
＊	*		
#	#		+

* ファクス番号入力の場合に適用されます。ファクス番号は［ﾕｰｻﾞｰ ｾｯﾃｲ］ - ［ﾌｧｸｽﾊﾞﾝｺﾞｳ］で表示されます。

アドレス入力時

テンキー	[1]	[A]
1	1	.@_-1
2	2	ABC2abc
3	3	DEF3def
4	4	GHI4ghi
5	5	JKL5jkl
6	6	MNO6mno
7	7	PQRS7pqrs
8	8	TUV8tuv
9	9	WXYZ9wxyz
0	0	(space)0
＊		
#	#	+&/*=!?()%[]^` ´ {}|$

その他

テンキー	[1]	[A]	[ア]
1	1	.,'?!"1-()@/:;_	ｱｲｳｴｵｧｨｩｪｫ
2	2	ABC2abc	ｶｷｸｹｺ
3	3	DEF3def	ｻｼｽｾｿ
4	4	GHI4ghi	ﾀﾁﾂﾃﾄｯ
5	5	JKL5jkl	ﾅﾆﾇﾈﾉ
6	6	MNO6mno	ﾊﾋﾌﾍﾎ
7	7	PQRS7pqrs	ﾏﾐﾑﾒﾓ
8	8	TUV8tuv	ﾔﾕﾖｬｭｮ
9	9	WXYZ9wxyz	ﾗﾘﾙﾚﾛ
0		（スペース）0	ﾜｦﾝ（スペース）
#	#	*+=#%&<>[]{}|^`	ﾞﾟ

入力モードを変更する

＊キーを押すごとに、入力モードが数字、アルファベット、カタカナに切り替わります。

[1]：数字入力モード

[A]：アルファベット入力モード

[ｱ]：カタカナ入力モード

入力例

入力手順は以下のとおりです。

例：

```
ﾅﾏｴ=ｴｲｷﾞｮｳ ｸﾞﾙｰﾌﾟ
 OK=▶                 [ｱ]
```

1 ＊を押します。
入力モードがカタカナに切り替わります。

```
ﾅﾏｴ=_
 OK=ｾﾝﾀｸ              [ｱ]
```

2 1 キーを 4 回押します。
「ｴ」が入力されます。

```
ﾅﾏｴ=ｴ
 OK=▶                 [ｱ]
```

3 ▶ を押します。
カーソルが右へ移動します。

```
ﾅﾏｴ=ｴ_
 OK=ｾﾝﾀｸ              [ｱ]
```

4 1 キーを 2 回押します。
「ｲ」が入力されます。

```
ﾅﾏｴ=ｴｲ
 OK=▶                 [ｱ]
```

5 2 キーを 2 回押します。
「ｷ」が入力されます。

```
ﾅﾏｴ=ｴｲｷ
 OK=▶                 [ｱ]
```

6 # キーを 1 回押します。
「ﾞ」が入力されます。

```
ﾅﾏｴ=ｴｲｷﾞ
 OK=▶                 [ｱ]
```

7 8 キーを 6 回押します。
「ｮ」が入力されます。

```
ﾅﾏｴ=ｴｲｷﾞｮ
 OK=▶                 [ｱ]
```

8 1 キーを 3 回押します。
「ｳ」が入力されます。

```
ﾅﾏｴ=ｴｲｷﾞｮｳ
 OK=▶                 [ｱ]
```

9 0 キーを 4 回押します。
スペースが入力されます。

```
ﾅﾏｴ=ｴｲｷﾞｮｳ_
 OK=▶                [ｱ]
```

10 2 キーを 3 回押します。
「ｸ」が入力されます。

```
ﾅﾏｴ=ｴｲｷﾞｮｳ ｸ
 OK=▶                [ｱ]
```

11 # キーを 1 回押します。
「ﾞ」が入力されます。

```
ﾅﾏｴ=ｴｲｷﾞｮｳ ｸﾞ
 OK=▶                [ｱ]
```

12 9 キーを 3 回押します。
「ﾙ」が入力されます。

```
ﾅﾏｴ=ｴｲｷﾞｮｳ ｸﾞﾙ
 OK=▶                [ｱ]
```

13 ＊を 2 回押します。
入力モードがアルファベットに切り替わります。

```
ﾅﾏｴ=ｴｲｷﾞｮｳ ｸﾞﾙ_
 OK=ｾﾝﾀｸ             [A]
```

14 1 キーを 8 回押します。
「-」が入力されます。

```
ﾅﾏｴ=ｴｲｷﾞｮｳ ｸﾞﾙｰ
 OK=▶                [A]
```

15 ＊を押します。
入力モードがカタカナに切り替わります。

```
ﾅﾏｴ=ｴｲｷﾞｮｳ ｸﾞﾙｰ_
 OK=ｾﾝﾀｸ             [ｱ]
```

16 6 キーを 3 回押します。
「ﾌ」が入力されます。

```
ﾅﾏｴ=ｴｲｷﾞｮｳ ｸﾞﾙｰﾌ
 OK=▶                [ｱ]
```

17 # キーを 2 回押します。
「ﾟ」が入力されます。

```
ﾅﾏｴ=ｴｲｷﾞｮｳ ｸﾞﾙｰﾌﾟ
 OK=▶                [ｱ]
```

文字修正のしかたと入力時の注意

- 入力した文字をすべて削除するには、キャンセル /C キーを長押しします。
- 入力した文字の 1 部を削除するには、◀ または ▶ キーを押して、カーソル（_）を削除したい文字に移動させ、キャンセル /C キーを押します。
- 1 つのキーに複数の文字が割り当てられている場合、画面の下段に "OK= ▶ " が表示されます。
- 続けて同じキーを使って入力する場合は、最初の文字を入力した後、▶ キーを押してから次の文字を入力します。（上記の入力例を参照してください。）
- スペースを入力する場合は、カタカナ入力モードでは 0 キーを 4 回、アルファベット入力モードでは 0 キーを 1 回押してください。
- 濁点または半濁点はカタカナ入力モードで＃キーを押します。

索引

も

よ

り

れ

わ